

令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査

まちづくり協議会

調査結果報告書

令和5年3月

神戸市

【目次】

(1) 調査概要	1
① 調査の目的.....	1
② 調査対象.....	1
③ 調査方法等.....	1
④ 調査の対象と回収状況	1
(2) 団体の活動	3
① 活動内容（問2）	3
② 活動記録の作成者（問3）	4
③ 協定等の更新作業の状況（問4）	4
(3) 利用施設と集まりの開催状況	5
① 定期的に利用している施設（問5）	5
② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問5）	5
(4) デジタル技術の活用	6
① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問8）	6
② デジタル技術活用のために市に求める支援（問9）	7
③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問10）	7
(5) 他団体との連携	8
① 他団体との連携の状況（問12）	8
② 他団体と連携した取組事例（問13）	9
③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問14）	9
(6) 活動を進めていくための課題	10
① コロナ禍における活動への影響（問6）	10
② コロナ禍での活動で苦労していること（問7）	11
③ 活動を進めていくための課題（人材面）（問11①）	12
④ 活動を進めていくための課題（運営面）（問11②）	12
⑤ 活動への住民の参加状況の課題（問11③）	13
(7) 団体が活動している地域の状況等	13
① 住民の居住年数の特徴（問15①）	13
② 住民同士の交流の状況（問15②）	14
③ 住民による地域活動の活発さの状況（問16）	14
④ 活発になっている理由（問17）	15
⑤ 以前に比べて活発でなくなった理由（問18）	16
⑥ 活動している地域の課題（問19）	17
⑦ 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問20）	18
⑧ 協定等の方向性に沿ったまちづくりの状況の認識（問21）	19
⑨ 活動の現状についての満足度（問22）	19
⑩ 団体が担う役割の今後についての考え（問23）	20

⑪ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問24）	20
⑫ 支援制度の利用状況（問26）	21
⑬ 市に相談したいことや支援を希望すること（問27）	22
(8) 代表の活動状況	23
① 代表（回答者）の状況（問36）	23
② 代表の選出方法（問28）	25
③ 代表の任期や定年の定め（問29）	25
④ 代表になってからの年数（問30）	26
⑤ 地域活動のための月間活動日数（問34）	26
⑥ 次期代表の確保の見通し（問31）	27
⑦ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問32）	27
⑧ 地域活動に参加してよかったこと（問33）	28
⑨ 会長として特に感じる負担（問35）	28
(9) 自由意見	29
① 運営での工夫（問25）	29
② コロナ禍において新たに取り組んだこと（問25）	29
③ その他（問25）	29

（資料）調査票

(1) 調査概要

① 調査の目的

神戸市では、おおむね3年ごとに、市内で活動されている地域組織のみなさまの活動実態及び課題などを把握するためアンケート調査を実施している。

前回の調査（令和元年度）以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっている市民の取り組みや感じていることを把握し、今後の施策に活用する。

② 調査対象

下記の団体を対象とする。

	概要	備考
まちづくり協議会	まちづくり提案の策定やまちづくり協定の締結等を目指して、地区の住み良いまちづくりを推進するために地区の住民等（居住者・事業者・土地又は家屋の所有者等）により結成される協議会。	全ての団体を調査対象とした。

③ 調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、郵送で回収した。
調査期間	令和4年10月11日（火）～11月11日（金）

④ 調査の対象と回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
全市	59	4	55	36	65.5%
東灘区	11		11	7	63.6%
灘区	3		3	2	66.7%
中央区	12	1	11	7	63.6%
兵庫区	7	1	6	6	100.0%
北区	7		7	4	57.1%
長田区	10	1	9	3	33.3%
須磨区	4	1	3	3	100.0%
垂水区	4		4	3	75.0%
西区	1		1	1	100.0%

⑤ 調査結果の表示方法

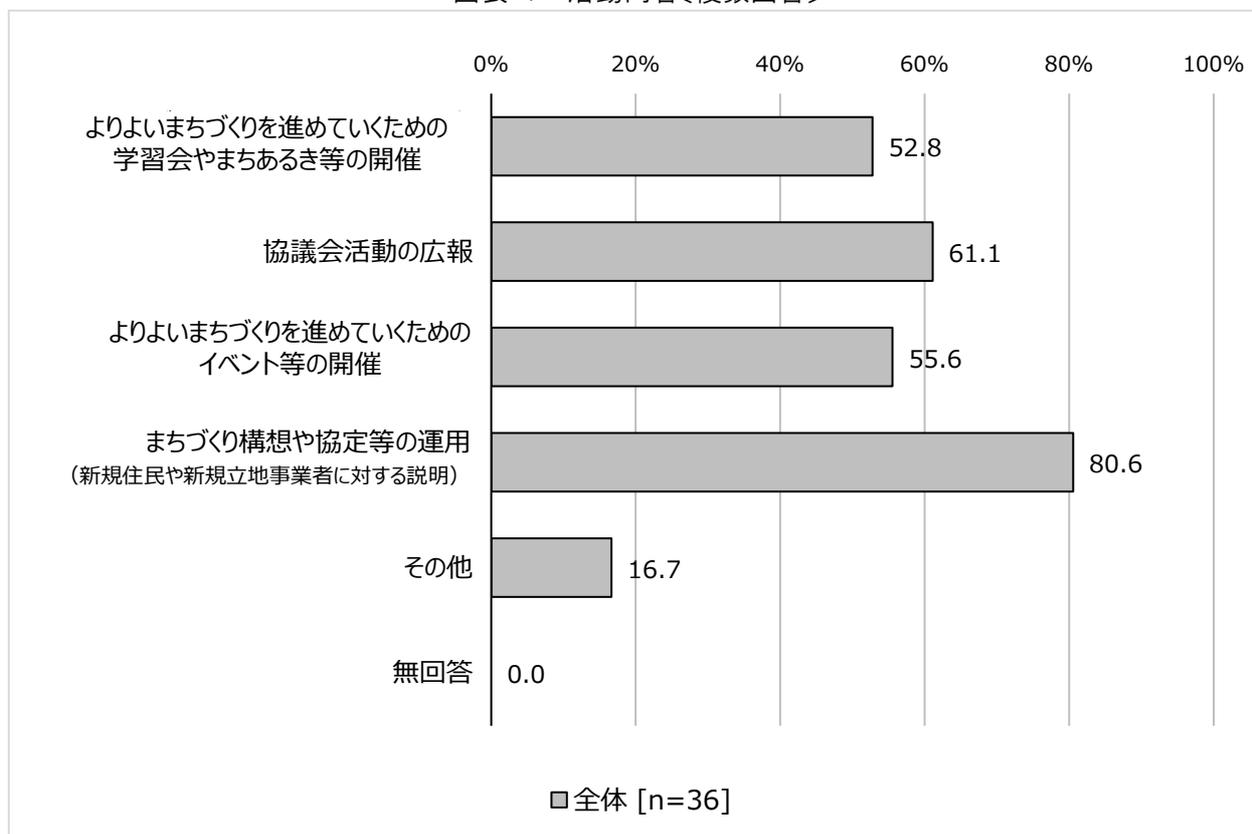
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの百分率（%）で表しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・各設問のサンプルサイズは、“n=●”として記載しています。
- ・〔複数回答〕とある設問は、2つ以上の選択肢を回答することが可能な設問です。このため、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

(2) 団体の活動

① 活動内容（問2）

活動内容は、「まちづくり構想や協定等の運用（新規住民や新規立地事業者に対する説明）」が80.6%と最も多く、次いで「協議会活動の広報」が61.1%、「よりよいまちづくりを進めていくためのイベント等の開催」が55.6%などとなっている。

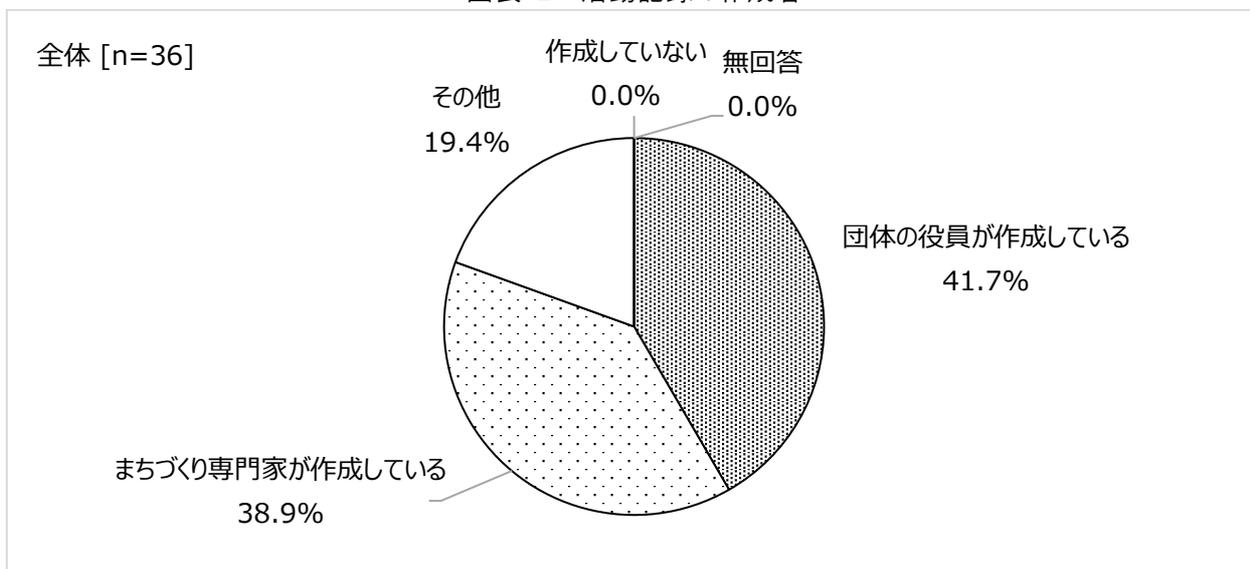
図表 1 活動内容〔複数回答〕



② 活動記録の作成者（問3）

活動記録の作成者は、「団体の役員が作成している」が41.7%と最も多く、次いで「まちづくり専門家が作成している」が38.9%、「その他」が19.4%などとなっている。

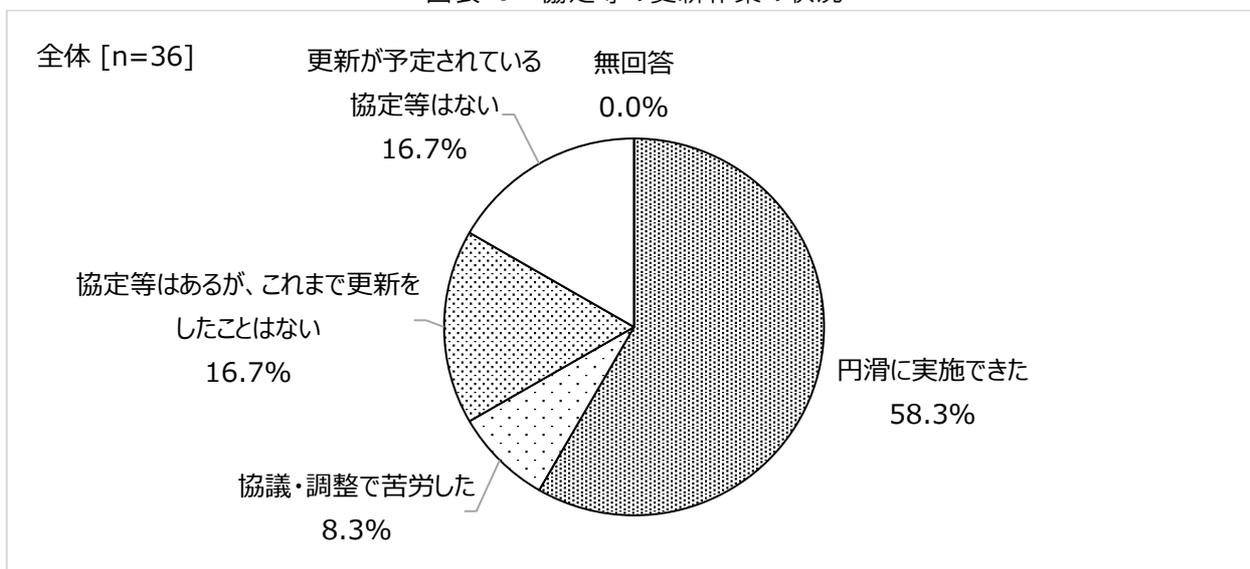
図表 2 活動記録の作成者



③ 協定等の更新作業の状況（問4）

協定等の更新作業の状況は、「円滑に実施できた」が58.3%と最も多く、次いで「協定等はあるが、これまで更新をしたことはない」が16.7%、「更新が予定されている協定等はない」が16.7%などとなっている。

図表 3 協定等の更新作業の状況



（協定等の更新の協議・調整で苦労した理由）

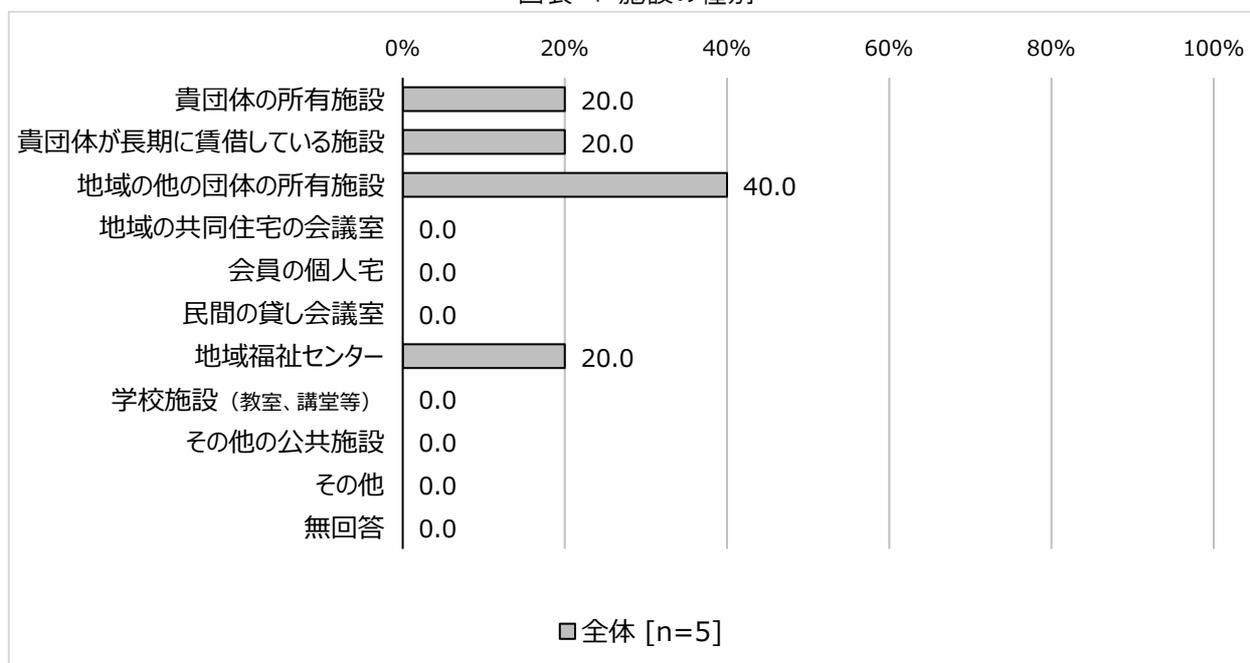
- ・合意形成で苦労した。
- ・行政の用語がわかりにくい。
- ・行政の姿勢が厳しい。

(3) 利用施設と集まりの開催状況

① 定期的に利用している施設（問5）

まちづくり協議会が定期的に利用している施設として5施設の回答があった。
施設の種別は、「地域の他の団体の所有施設」が40.0%と最も多くなっている。

図表 4 施設の種別



② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問5）

定期的に開催している集まりとして10件の回答があった。

主な利用対象者は、「どなたでも」が6件と最も多く、月1回と月2回の開催の集まりがそれぞれ2件となっている。次いで、「親子」を対象とする集まりが2件で、月1回と月2回の開催の集まりがそれぞれ1件となっている。

図表 5 集まりの状況(主な利用対象者と開催頻度)

主な利用対象	合計	開催頻度 (月当たりの開催日数)						
		月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回以上	無回答
合計 [n=10]	10	1	5	3	0	1	0	0
	100.0	10.0	50.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0
どなたでも [n=6]	6	1	2	2	0	1	0	0
	100.0	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
子ども [n=0]	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-
親子 [n=2]	2	0	1	1	0	0	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高齢者 [n=1]	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 [n=0]	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答[n=1]	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

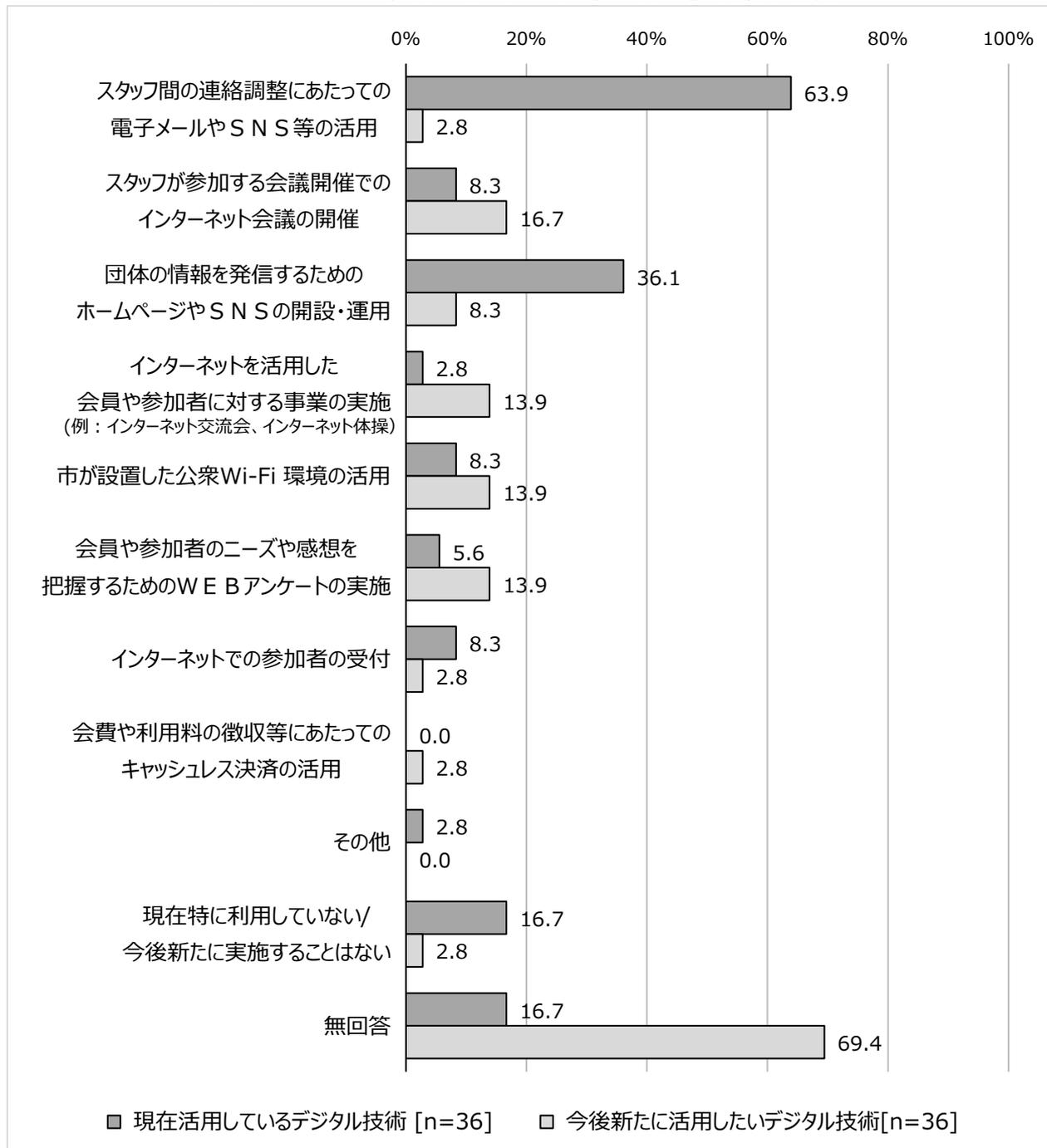
(4) デジタル技術の活用

① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問8）

現在活用しているデジタル技術は、「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」が63.9%と最も多く、次いで「団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用」が36.1%、「現在特に利用していない」が16.7%などとなっている。

今後新たに活用したいデジタル技術は、「スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議の開催」が16.7%と最も多く、次いで「インターネットを活用した会員や参加者に対する事業の実施」と「市が設置した公衆Wi-Fi環境の活用」、「会員や参加者のニーズや感想を把握するためのWEBアンケートの実施」が13.9%などとなっている。

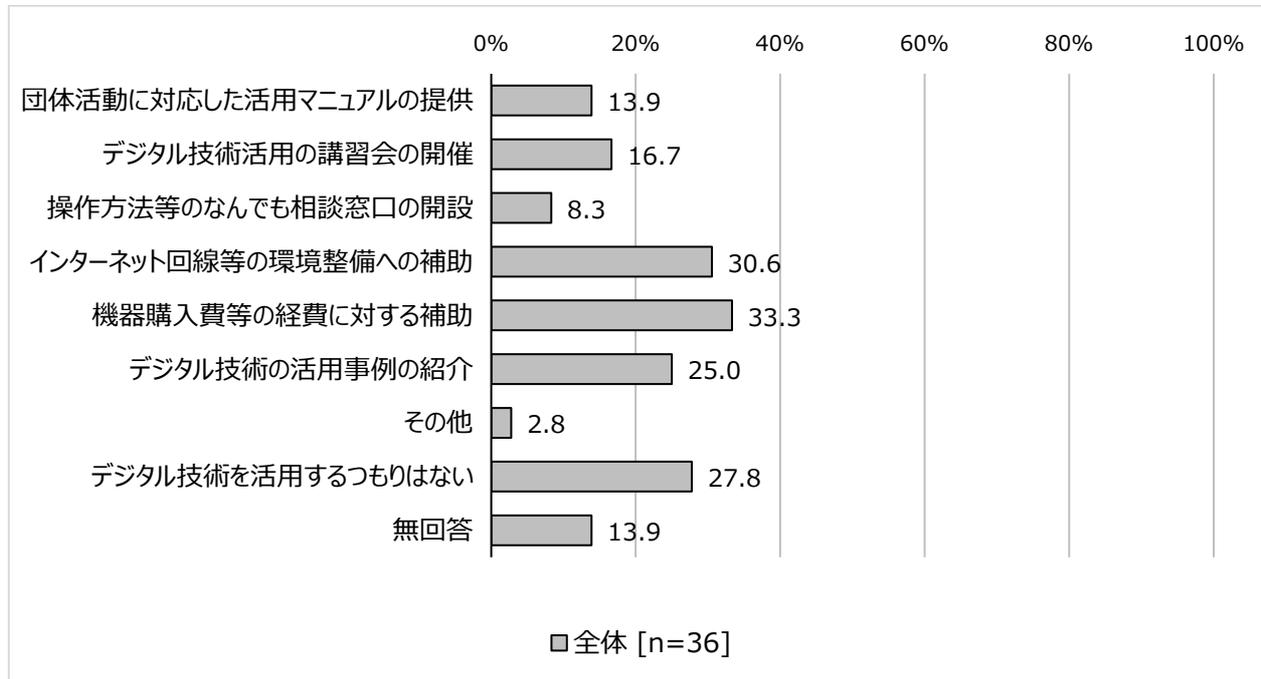
図表 6 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



② デジタル技術活用のために市に求める支援（問 9）

デジタル技術活用のために市に求める支援は、「機器購入費等の経費に対する補助」が33.3%と最も多く、次いで「インターネット回線等の環境整備への補助」が30.6%、「デジタル技術を活用するつもりはない」が27.8%などとなっている。

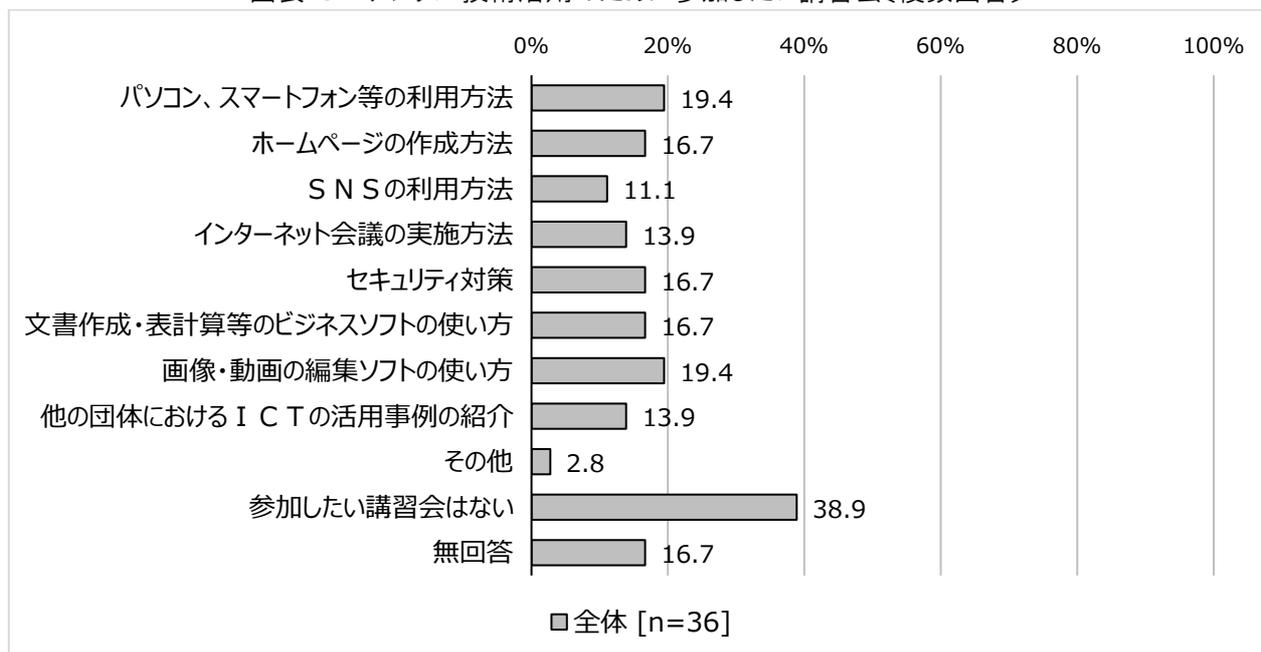
図表 7 デジタル技術活用のために市に求める支援〔複数回答〕



③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 10）

デジタル技術活用のために参加したい講習会は、「参加したい講習会はない」が38.9%と最も多く、次いで「パソコン、スマートフォン等の利用方法」と「画像・動画の編集ソフトの使い方」が19.4%などとなっている。

図表 8 デジタル技術活用のために参加したい講習会〔複数回答〕



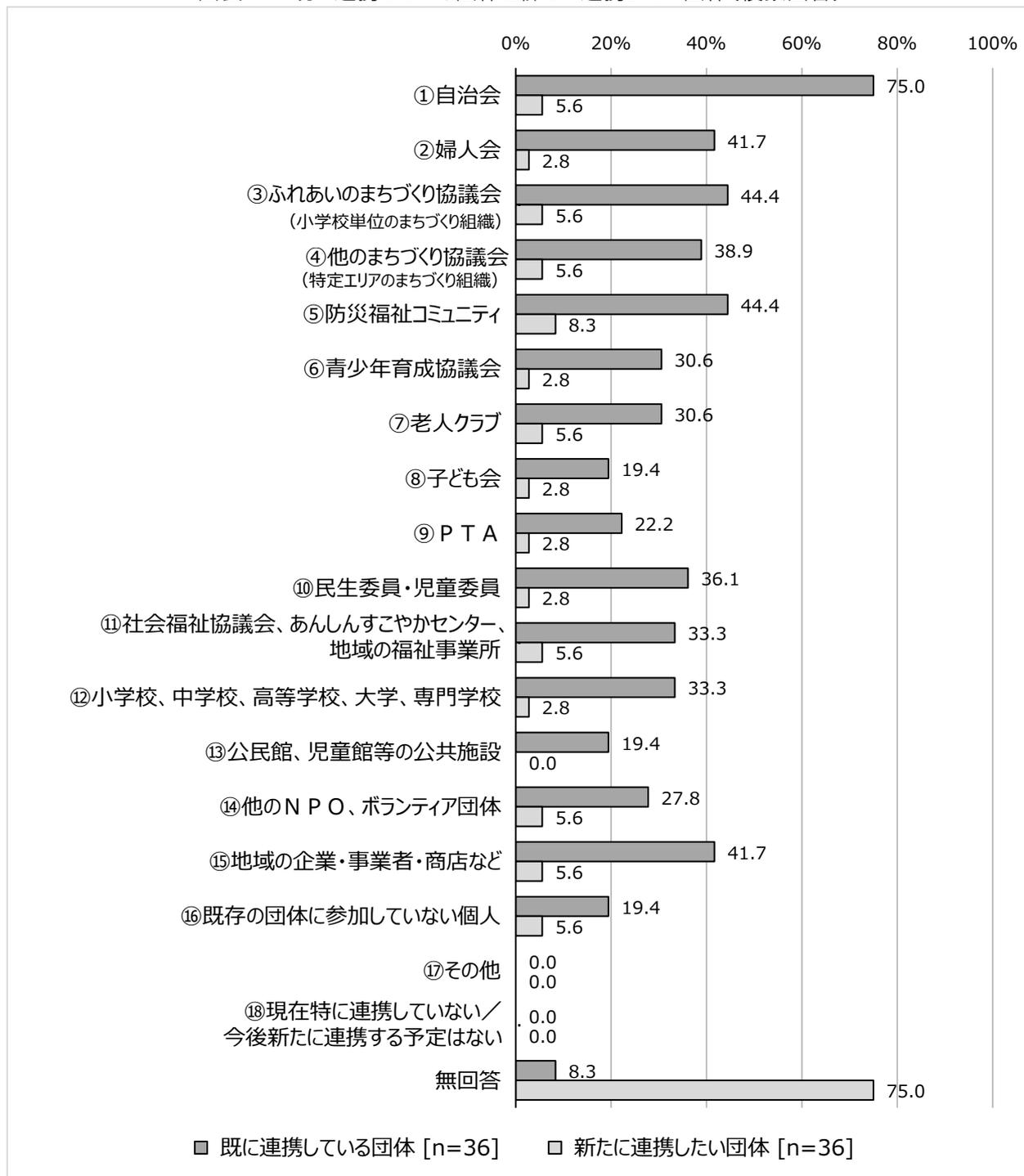
(5) 他団体との連携

①他団体との連携の状況（問 12）

既に連携している団体は、「①自治会」が75.0%と最も多く、次いで「③ふれあいのまちづくり協議会（小学校単位のまちづくり組織）」と「⑤防災福祉コミュニティ」が44.4%などとなっている。

新たに連携したい団体は、「⑤防災福祉コミュニティ」が8.3%と最も多くなっている。

図表 9 既に連携している団体と新たに連携したい団体〔複数回答〕



②他団体と連携した取組事例（問 13）

他団体と連携した取組として、次のような取組事例があげられた。

図表 10 他団体と連携した取組事例

連携先	連携内容（例）
自治会	基本方針の作成、情報伝達、防災空地の設定、防災空地でのイベント、地域盆踊り、防災、津波避難訓練、ボランティアの募集、敬老会
婦人会	防災空地でのイベント、地域盆踊り
ふれまち協	地域活性化のイベント、防災マップ作り、ボランティアの募集、敬老会
他のまち協	駅前の景観づくり、多文化交流、夜間防犯パトロール
防災福祉コミュニティ	防災訓練、海拔表示作成と設置
青少年育成協議会	夜店、子どもまつり
老人クラブ	防災空地でのイベント
P T A	子どもまつり
民生・児童委員	敬老会、子どもまつり
社協、福祉施設等	ガーデニング等
学校	消防署と連携でジュニア防災訓練、イベントへの参加（中学校プラスバンド部）、森林の手入れ、大学での体力測定等
N P O等	多文化共生のイベント
事業者・商店等	イベントへの協力、夜間景観の推進、交差点の安全対策

③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問 14）

他団体と今後連携して実現したいこと（アイデア）として次のような回答があげられた。

図表 11 他団体と連携して実現したいこと(アイデア)

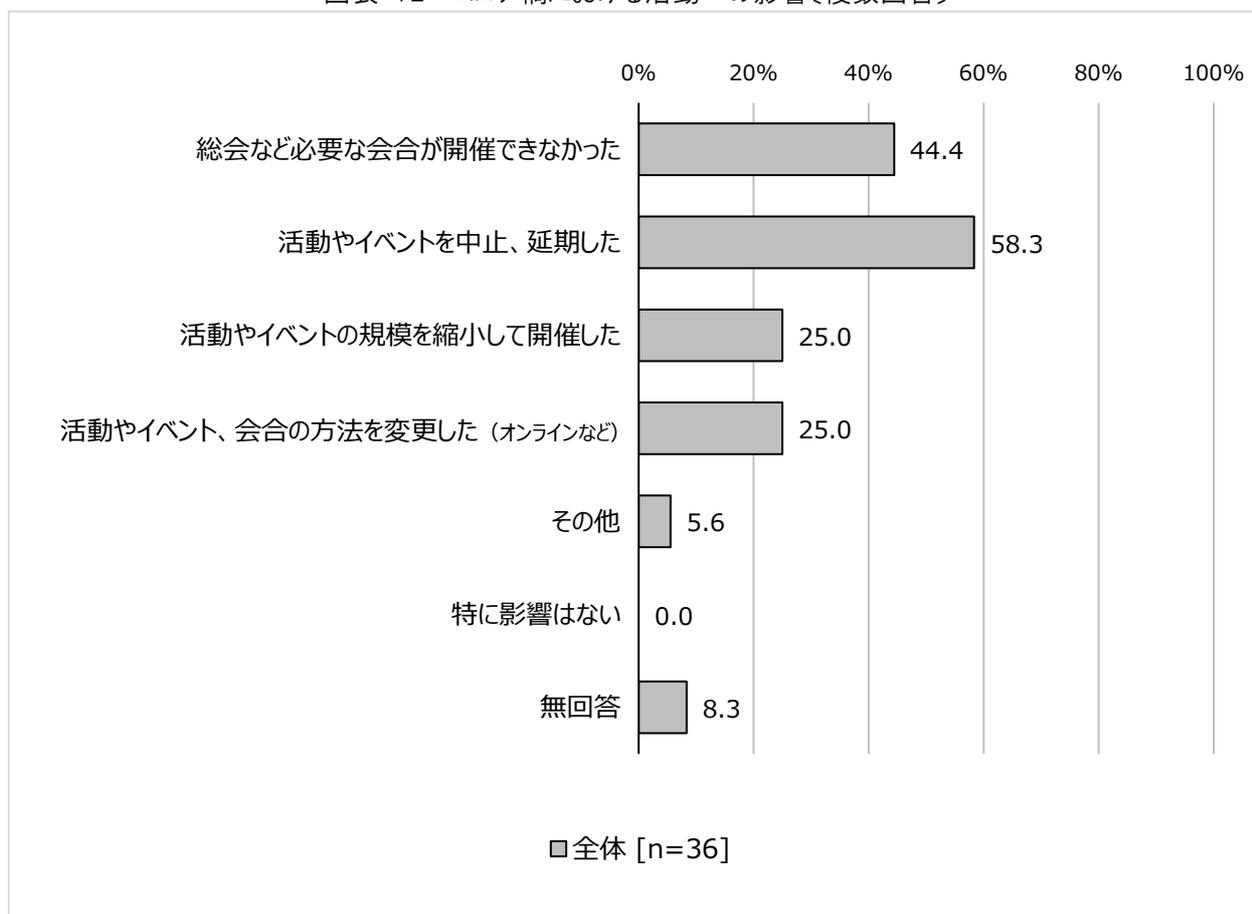
連携したい相手	連携して実現したいこと（アイデア）（例）
自治会	若い人の加入、私道整備についての勉強会
婦人会	緊急時避難支援道路の改善に向けた取り組み
ふれまち協	緊急時避難支援道路の改善に向けた取り組み
他のまち協	情報交換
P T A	デジタル化対応での協力
民生・児童委員	緊急時避難支援道路の改善に向けた取り組み
学校	地域の若い世代の方々とのワークショップ
N P O等	空地・空家対策（活用方法）
事業者・商店等	地域マルシェ等による活性化

(6) 活動を進めていくための課題

① コロナ禍における活動への影響（問6）

コロナ禍における活動への影響は、「活動やイベントを中止、延期した」が58.3%と最も多く、次いで「総会など必要な会合が開催できなかった」が44.4%、「活動やイベントの規模を縮小して開催した」と「活動やイベント、会合の方法を変更した(オンラインなど)」が25.0%などとなっている。

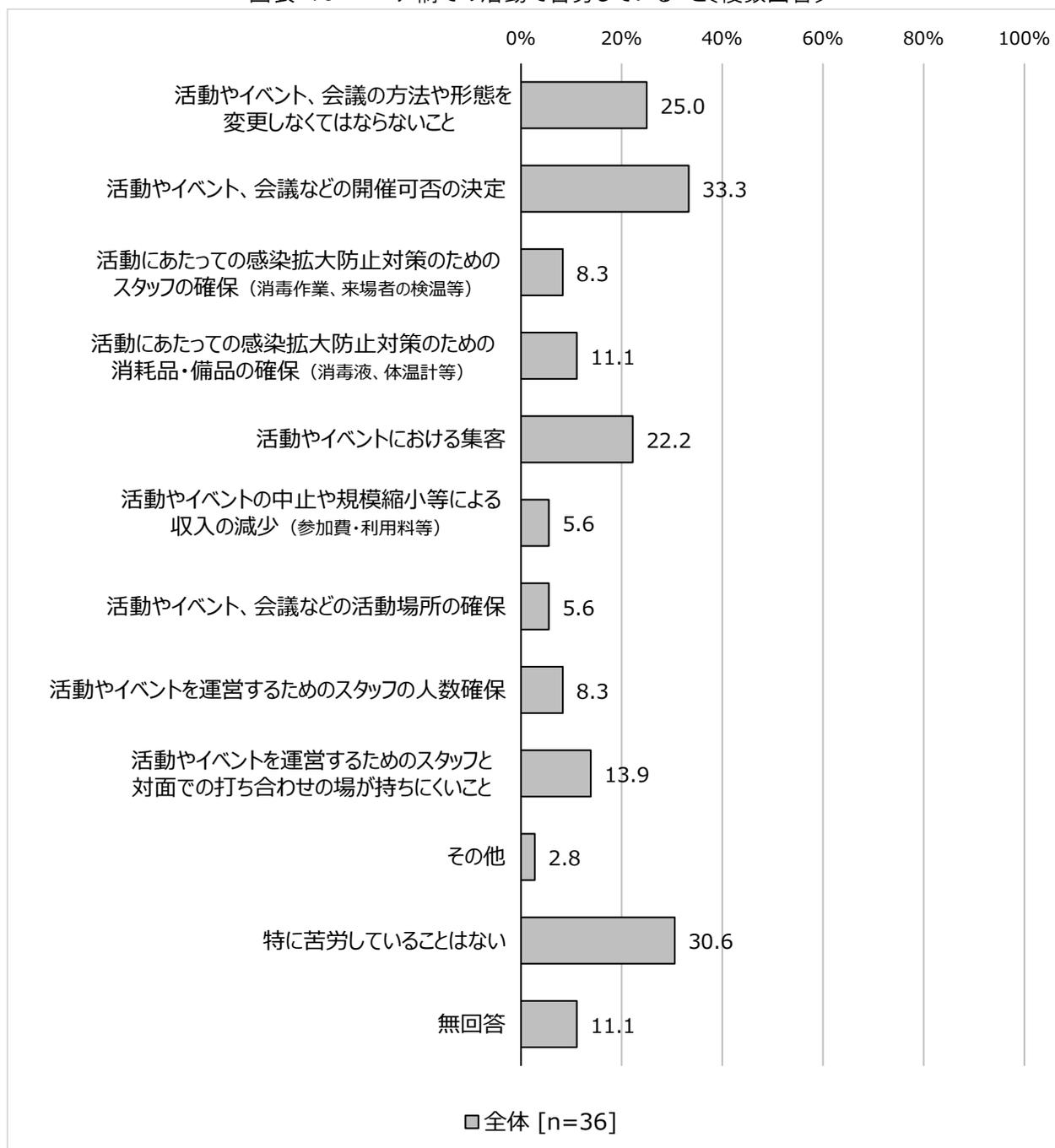
図表 12 コロナ禍における活動への影響〔複数回答〕



② コロナ禍での活動で苦勞していること（問7）

コロナ禍での活動で苦勞していることは、「活動やイベント、会議などの開催可否の決定」が33.3%と最も多く、次いで「特に苦勞していることはない」が30.6%、「活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと」が25.0%などとなっている。

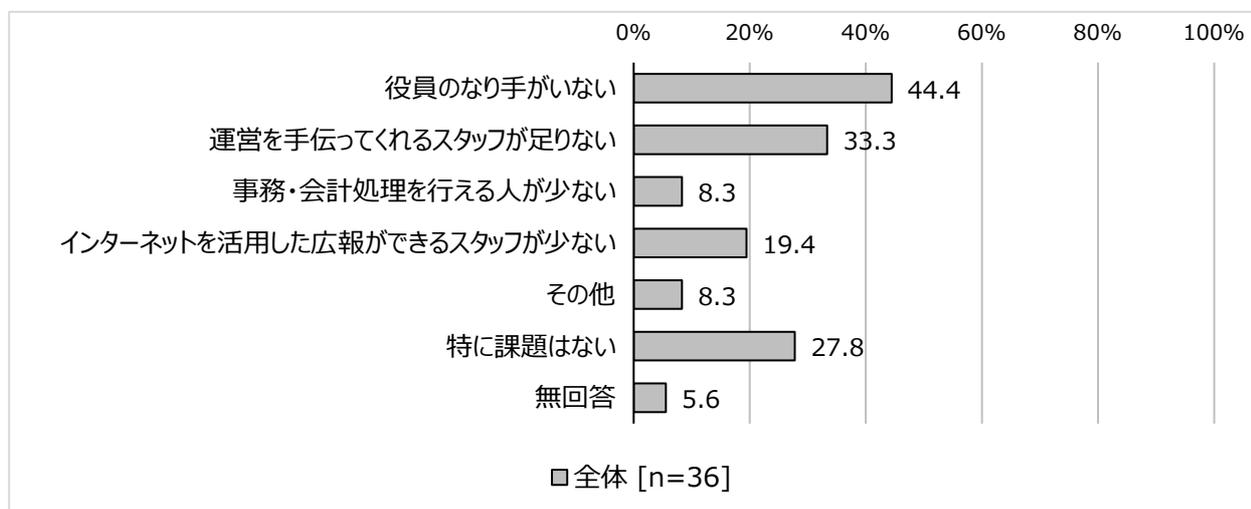
図表 13 コロナ禍での活動で苦勞していること〔複数回答〕



③活動を進めていくための課題（人材面）（問 11①）

活動を進めていくための課題（人材面）は、「役員のなり手がいない」が44.4%と最も多く、次いで「運営を手伝ってくれるスタッフが足りない」が33.3%、「特に課題はない」が27.8%などとなっている。

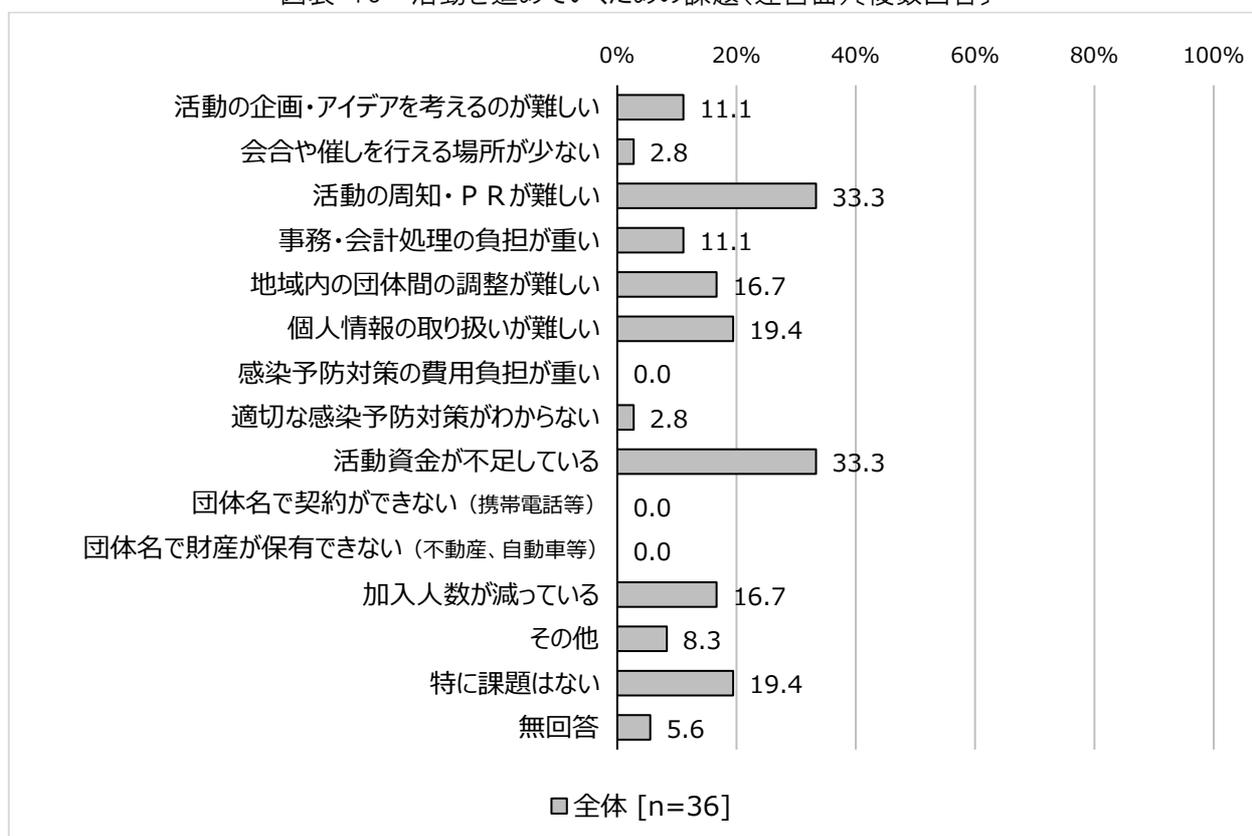
図表 14 活動を進めていくための課題（人材面）〔複数回答〕



④活動を進めていくための課題（運営面）（問 11②）

活動を進めていくための課題（運営面）は、「活動の周知・PRが難しい」と「活動資金が不足している」が33.3%と最も多く、次いで「個人情報の取り扱いが難しい」と「特に課題はない」が19.4%などとなっている。

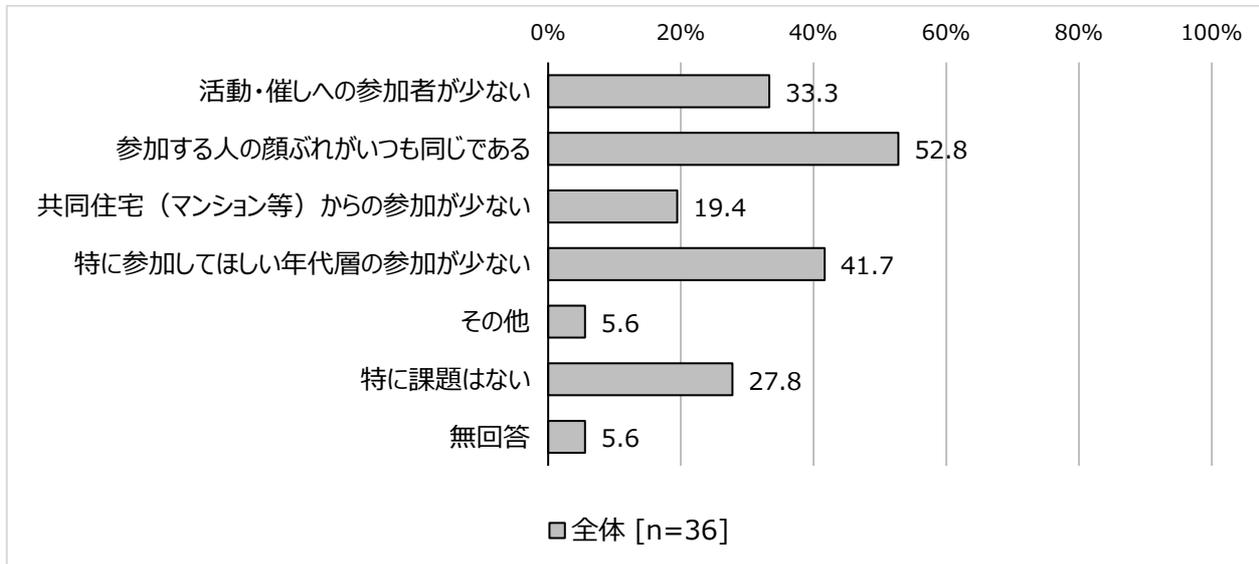
図表 15 活動を進めていくための課題（運営面）〔複数回答〕



⑤活動への住民の参加状況の課題（問 11③）

活動への住民の参加状況の課題は、「参加する人の顔ぶれがいつも同じである」が52.8%と最も多く、次いで「特に参加してほしい年代層の参加が少ない」が41.7%、「活動・催しへの参加者が少ない」が33.3%などとなっている。

図表 16 活動への住民の参加状況の課題〔複数回答〕

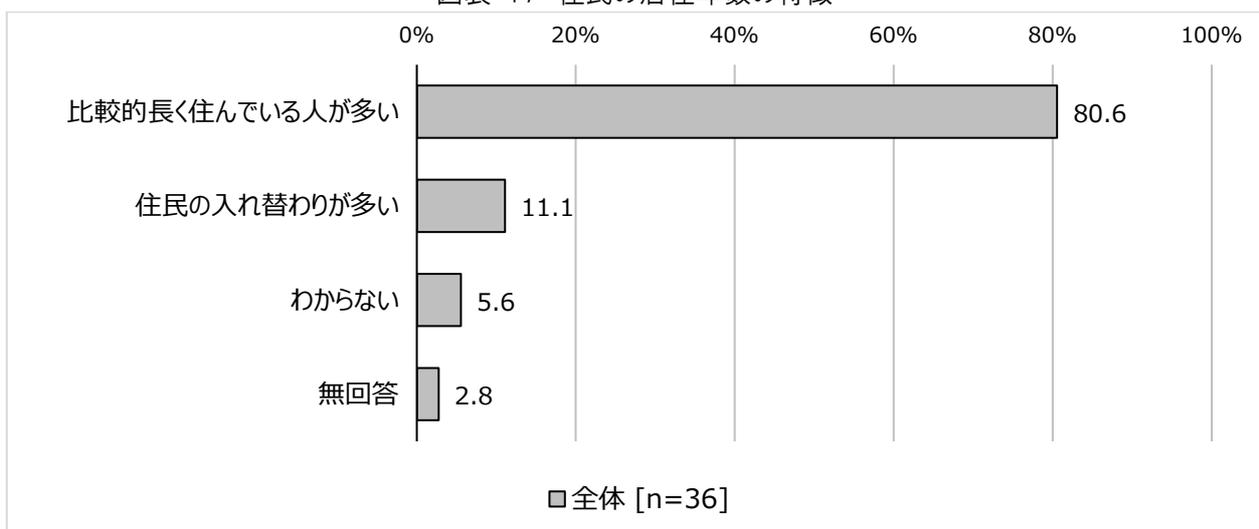


(7) 団体が活動している地域の状況等

①住民の居住年数の特徴（問 15①）

住民の居住年数の特徴は、「比較的長く住んでいる人が多い」が80.6%と最も多くなっている。

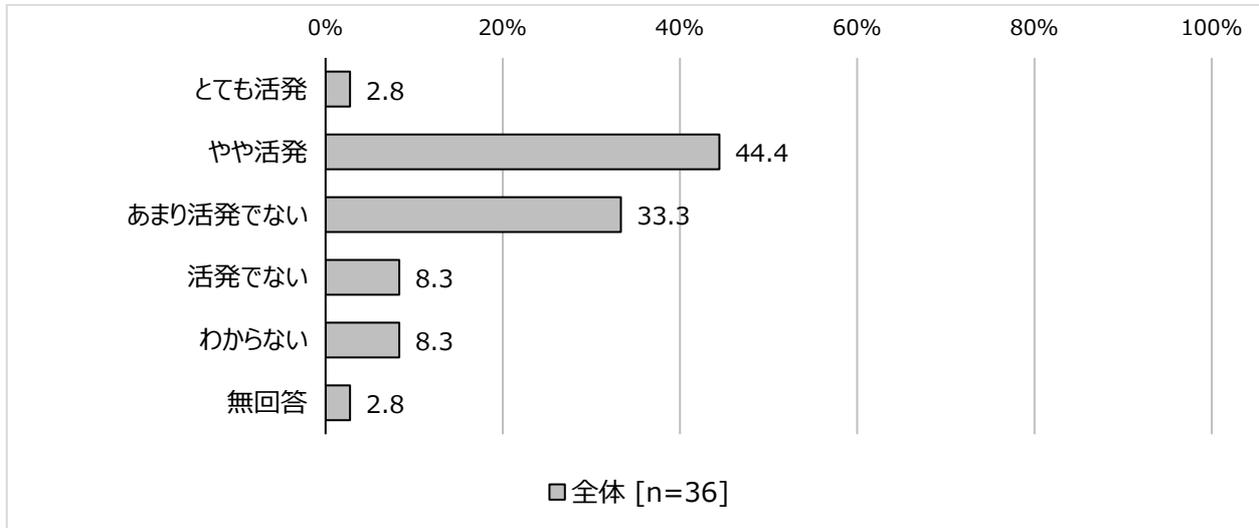
図表 17 住民の居住年数の特徴



② 住民同士の交流の状況（問 15②）

住民同士の交流の状況は、「やや活発」が44.4%と最も多く、次いで「あまり活発でない」が33.3%、「活発でない」が8.3%などとなっている。

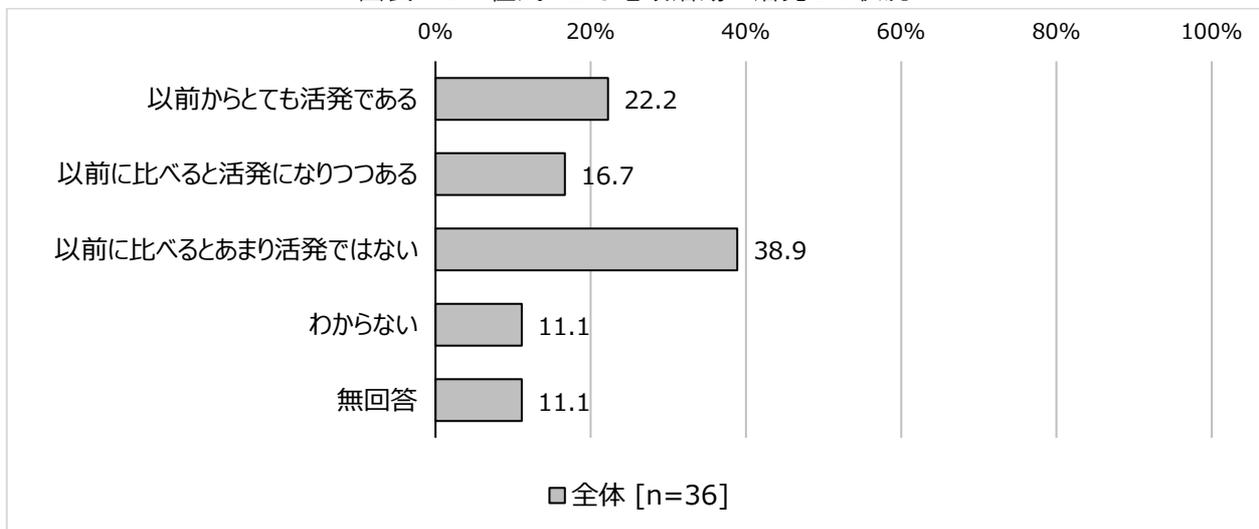
図表 18 住民同士の交流の状況



③ 住民による地域活動の活発さの状況（問 16）

住民による地域活動の活発さの状況は、「以前に比べるとあまり活発ではない」が38.9%と最も多く、次いで「以前からとても活発である」が22.2%、「以前に比べると活発になりつつある」が16.7%などとなっている。

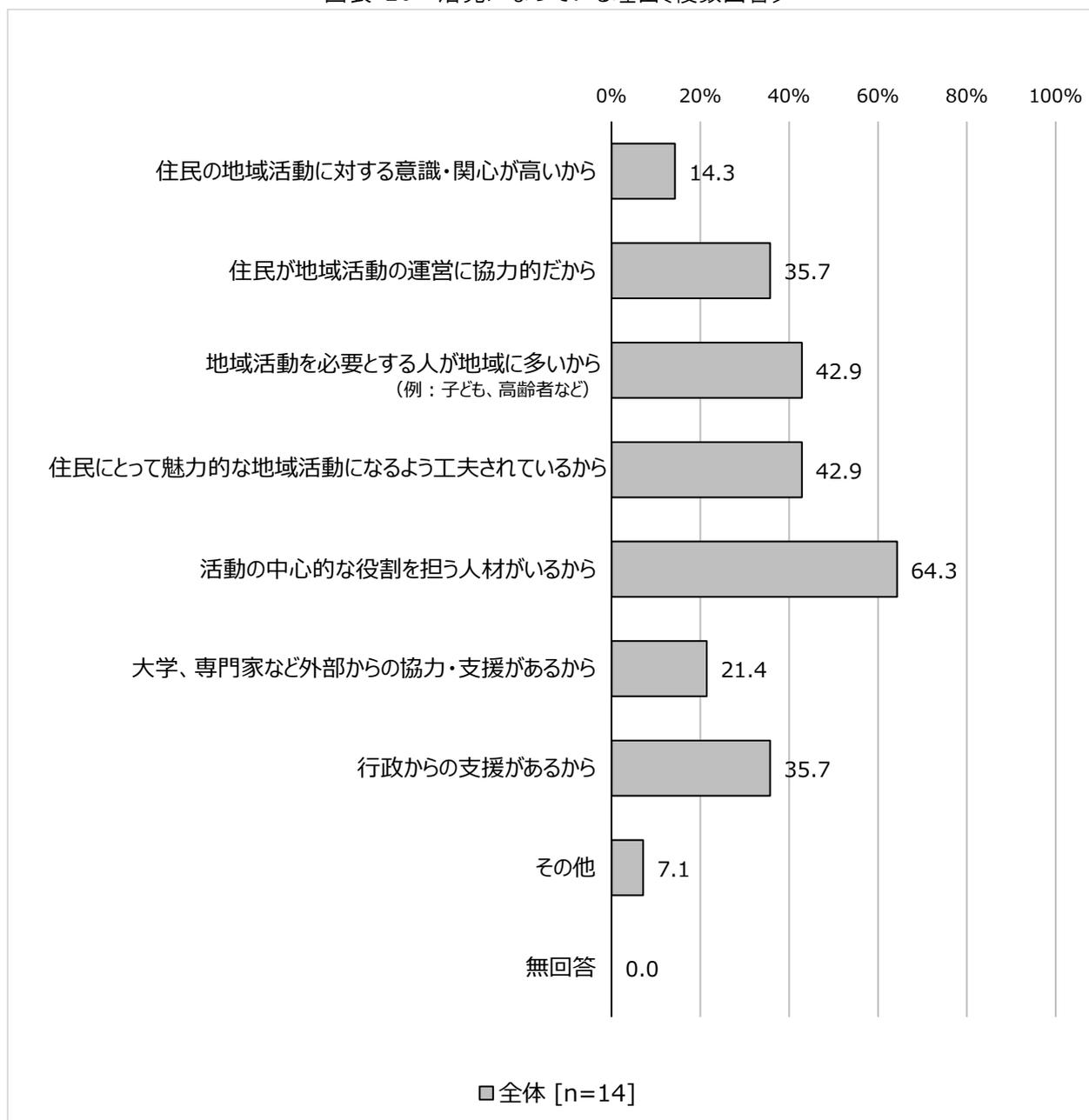
図表 19 住民による地域活動の活発さの状況



④ 活発になっている理由（問 17）

活発になっている理由は、「活動の中心的な役割を担う人材がいるから」が64.3%と最も多く、次いで「地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に多いから」と「住民にとって魅力的な地域活動になるよう工夫されているから」が42.9%などとなっている。

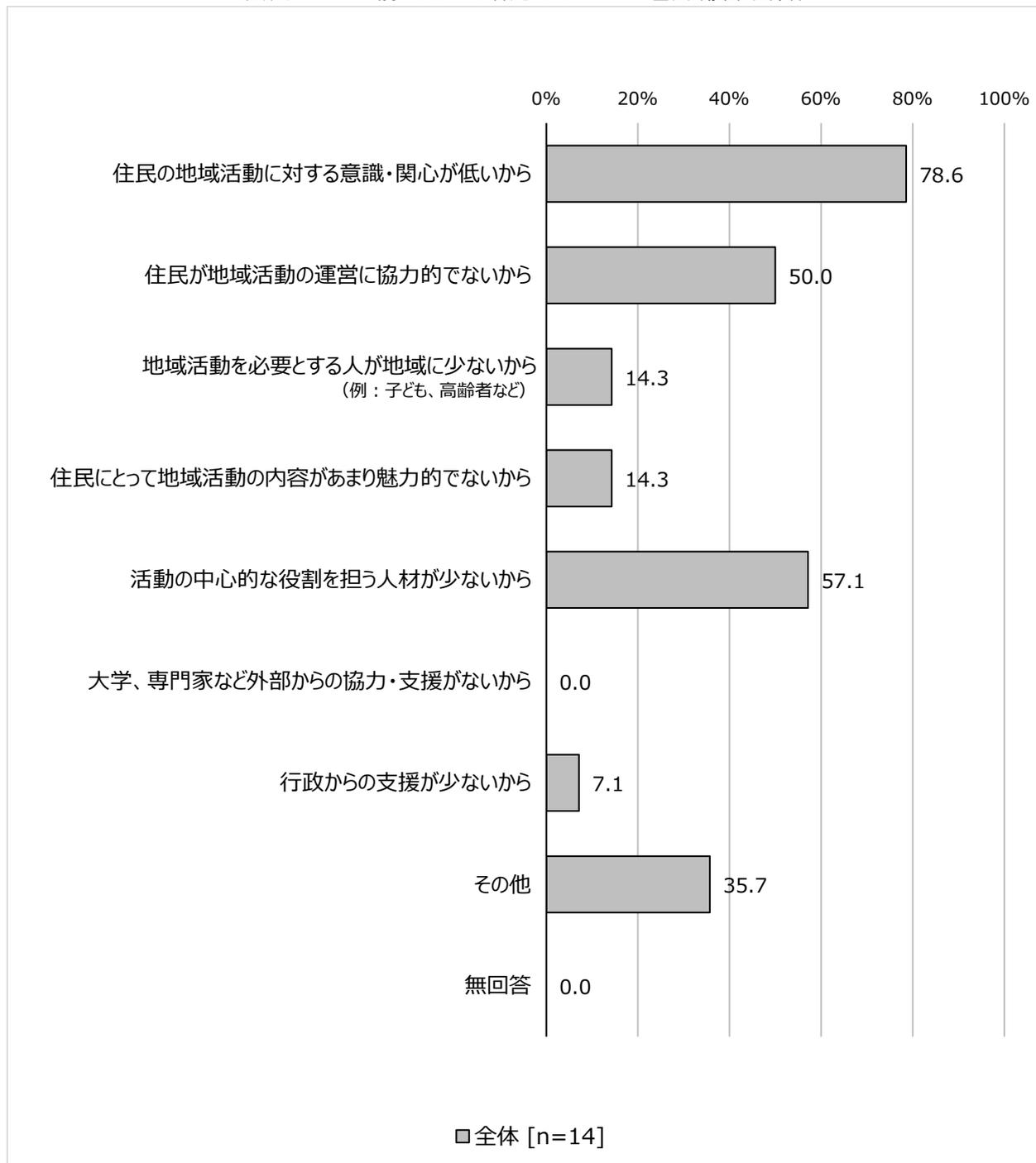
図表 20 活発になっている理由〔複数回答〕



⑤以前に比べて活発でなくなった理由（問 18）

以前に比べて活発でなくなった理由は、「住民の地域活動に対する意識・関心が低いから」が78.6%と最も多く、次いで「活動の中心的な役割を担う人材が少ないから」が57.1%、「住民が地域活動の運営に協力的でないから」が50.0%などとなっている。

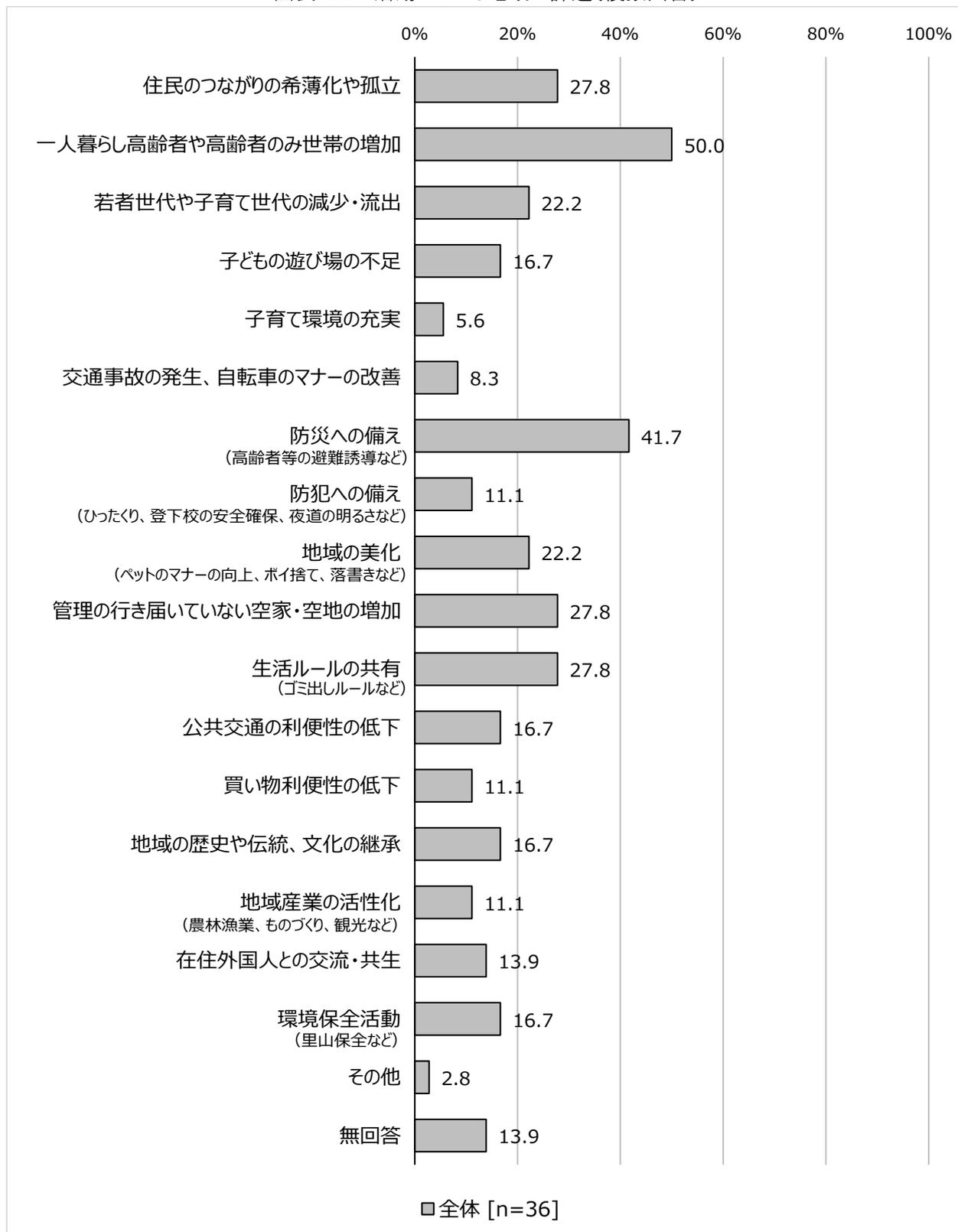
図表 21 以前に比べて活発でなくなった理由〔複数回答〕



⑥活動している地域の課題（問 19）

活動している地域の課題は、「一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加」が50.0%と最も多く、次いで「防災への備え（高齢者等の避難誘導など）」が41.7%、「住民のつながりの希薄化や孤立」と「管理の行き届いていない空家・空地の増加」、「生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど）」が27.8%などとなっている。

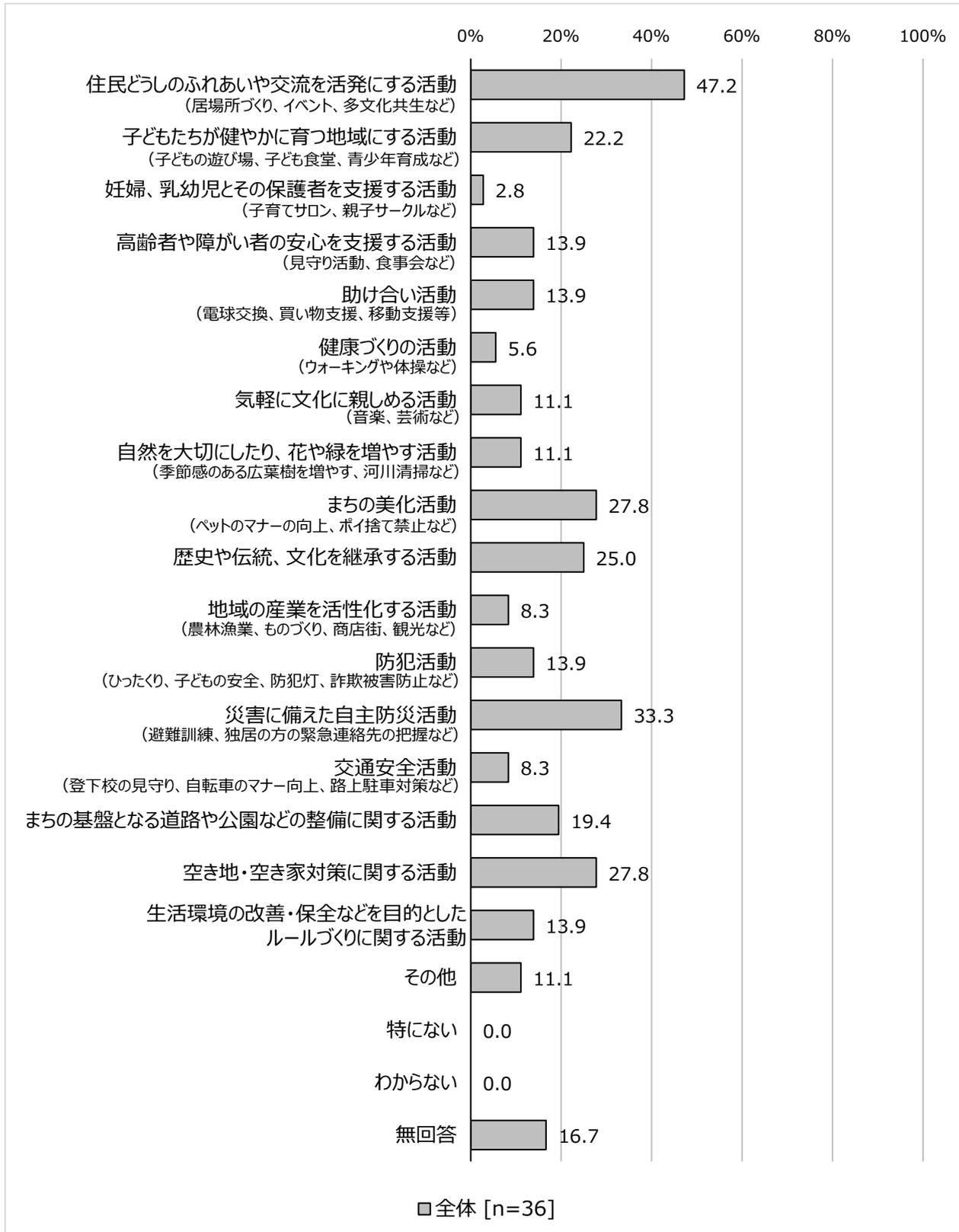
図表 22 活動している地域の課題〔複数回答〕



⑦課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問 20）

課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なことは、「住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）」が47.2%と最も多く、次いで「災害に備えた自主防災活動（避難訓練、独居の方の緊急連絡先の把握など）」が33.3%、「まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）」が27.8%などとなっている。

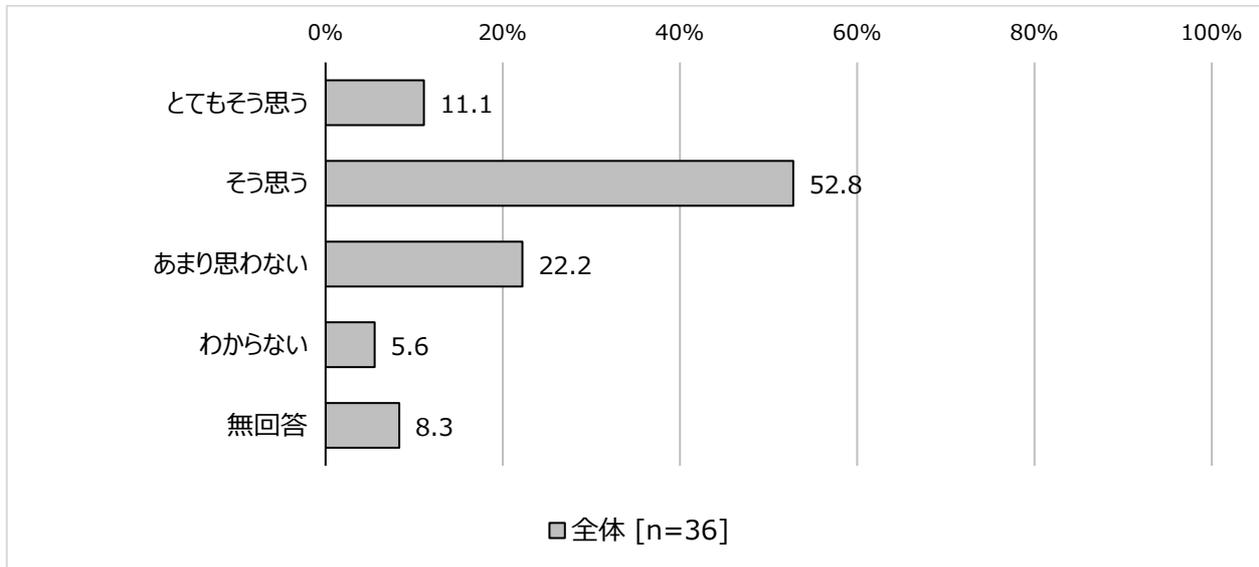
図表 23 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと〔複数回答〕



⑧協定等の方向性に沿ったまちづくりの状況の認識（問 21）

活動しているエリアについて、まちづくり構想や協定等の方向性に沿って、まちづくりが進んでいるかの認識は、「そう思う」が52.8%と最も多く、次いで「あまり思わない」が22.2%、「とてもそう思う」が11.1%などとなっている。

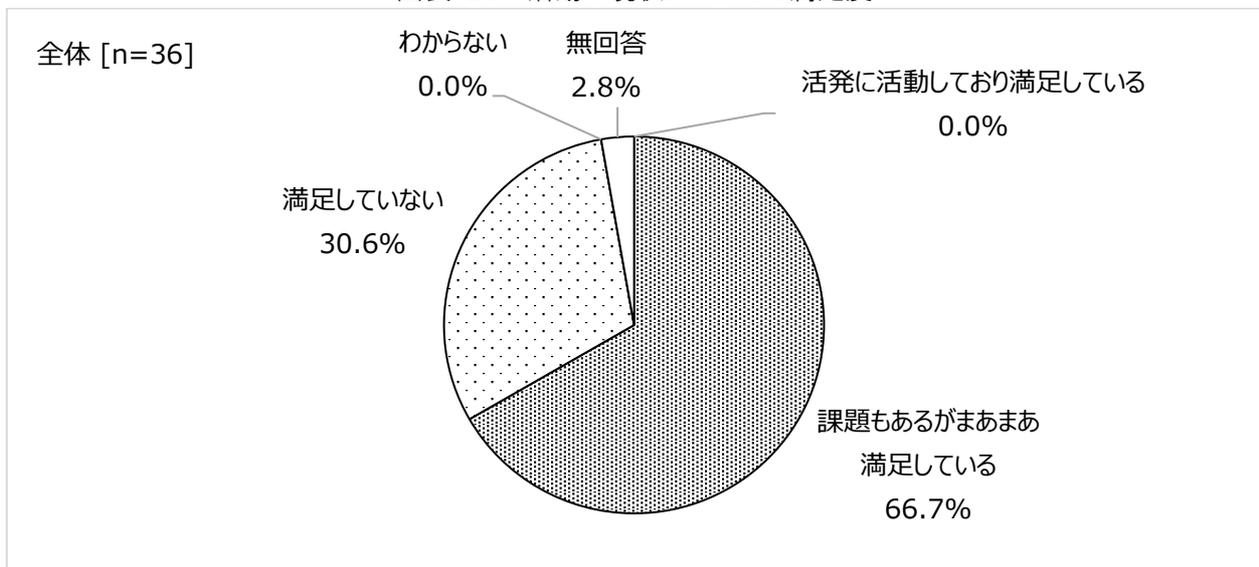
図表 24 協定等の方向性に沿ったまちづくりの状況の認識



⑨ 活動の現状についての満足度（問 22）

活動の現状についての満足度は、「課題もあるがまあまあ満足している」が66.7%と最も多く、次いで「満足していない」が30.6%などとなっている。

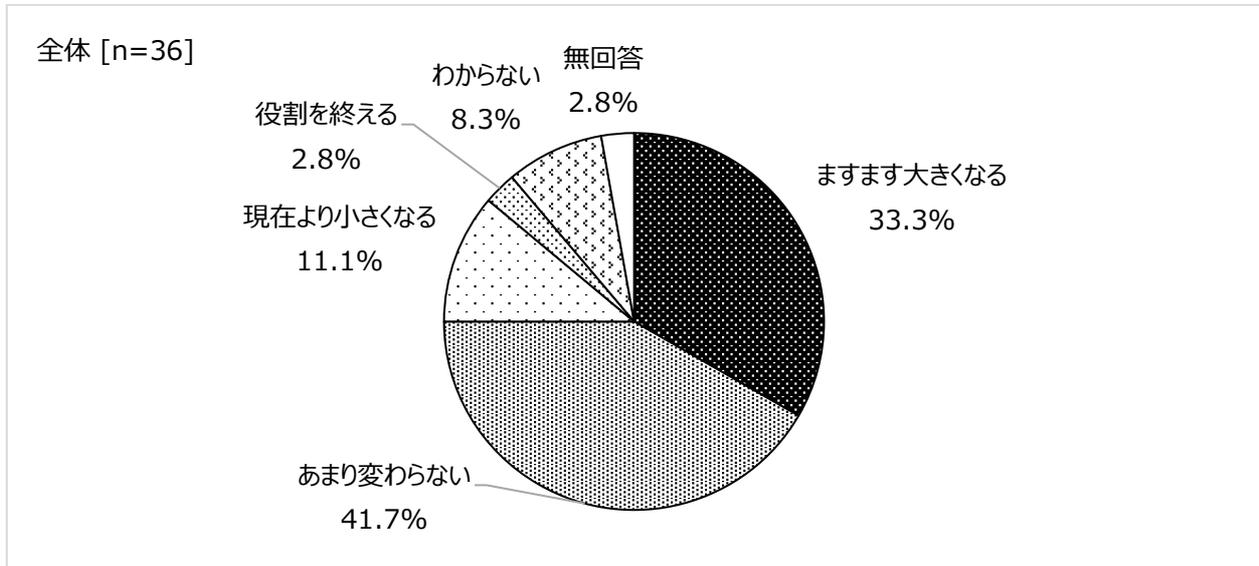
図表 25 活動の現状についての満足度



⑩ 団体が担う役割の今後についての考え（問 23）

団体が担う役割の今後についての考えは、「あまり変わらない」が41.7%と最も多く、次いで「ますます大きくなる」が33.3%、「現在より小さくなる」が11.1%などとなっている。

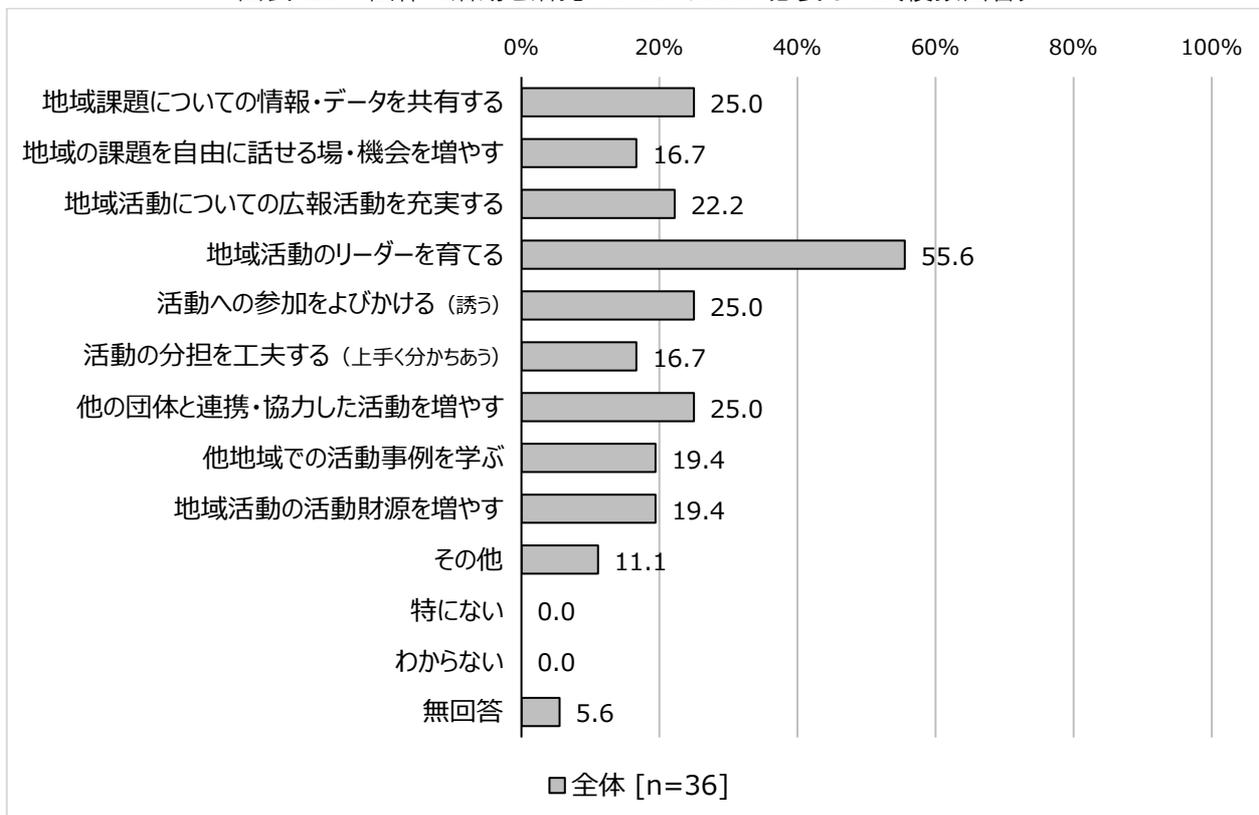
図表 26 団体が担う役割の今後についての考え



⑪ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 24）

団体の活動を活発にしていくために必要なことは、「地域活動のリーダーを育てる」が55.6%と最も多く、次いで「地域課題についての情報・データを共有する」と「活動への参加をよびかける（誘う）」、「他の団体と連携・協力した活動を増やす」が25.0%などとなっている。

図表 27 団体の活動を活発にしていくために必要なこと〔複数回答〕

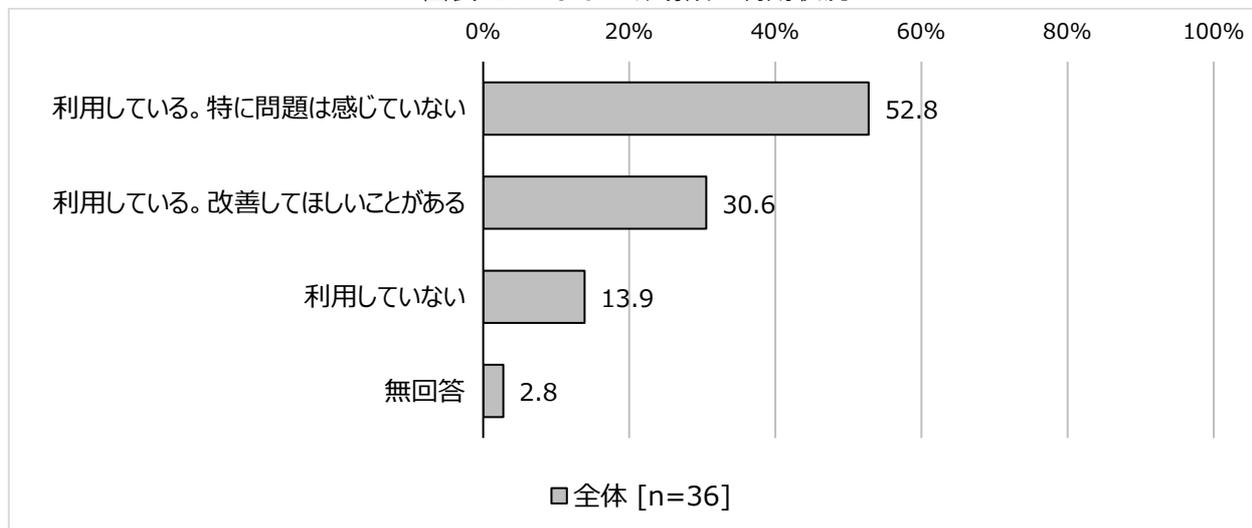


⑫ 支援制度の利用状況（問 26）

(7) まちづくり助成の利用状況

まちづくり助成の利用状況は、「利用している。特に問題は感じていない」が52.8%と最も多く、次いで「利用している。改善してほしいことがある」が30.6%、「利用していない」が13.9%となっている。

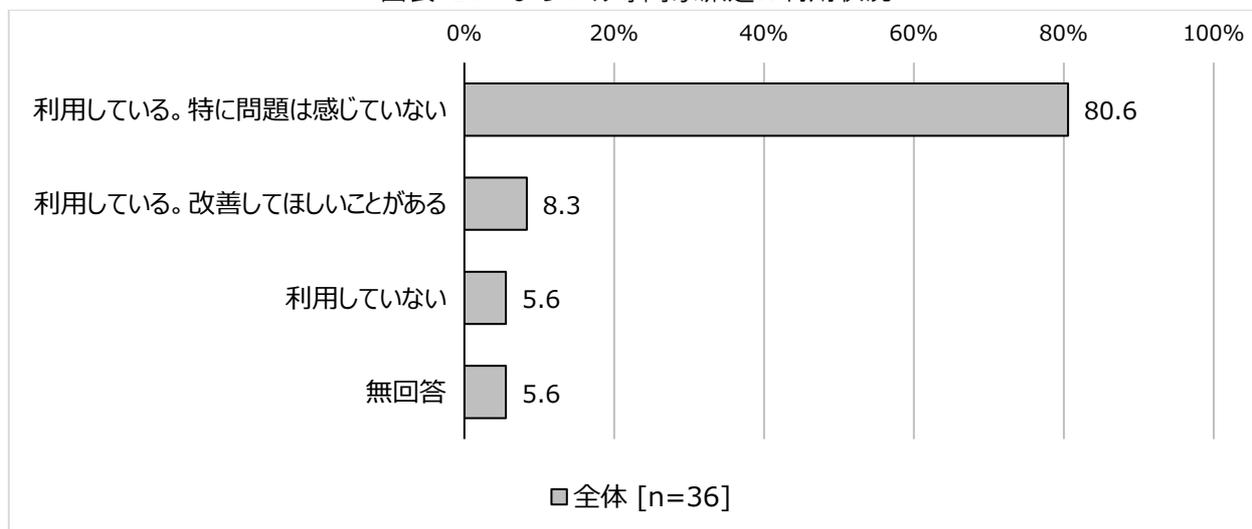
図表 28 まちづくり助成の利用状況



(4) まちづくり専門家派遣の利用状況

まちづくり専門家派遣の利用状況は、「利用している。特に問題は感じていない」が80.6%と最も多く、次いで「利用している。改善してほしいことがある」が8.3%、「利用していない」が5.6%となっている。

図表 29 まちづくり専門家派遣の利用状況



(ウ) 支援制度について改善してほしいこと

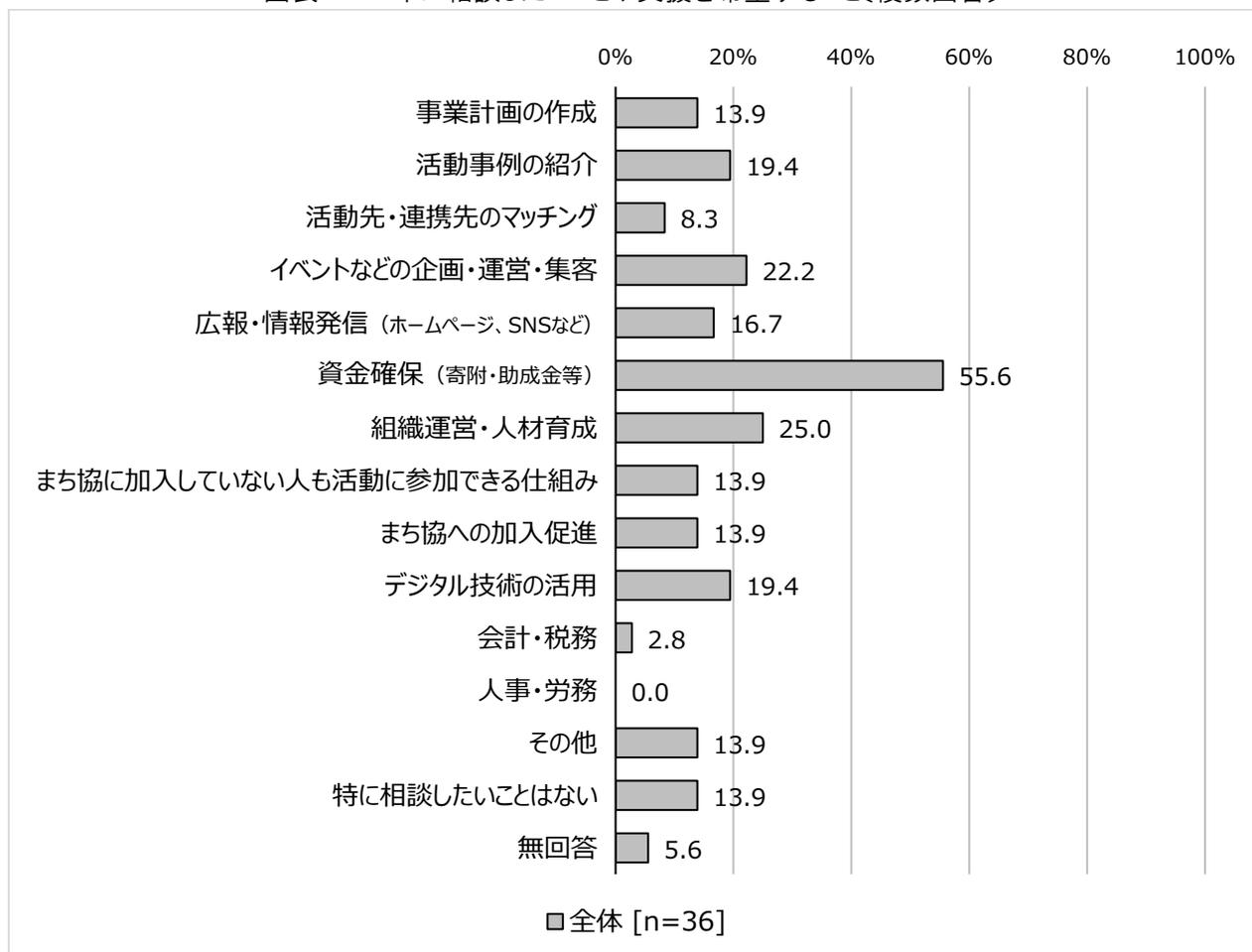
図表 30 支援制度について改善してほしいこと

	主なご意見
まちづくり助成	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の金額が減らされたので、元に戻してほしい。 ・助成金の金額を増やしてほしい。 ・全額補助にしてほしい。 ・助成金の用途を拡大してほしい。 ・年度事業は 3/31 までなので、会計メと報告は 4 月以降にしてほしい。 ・自立を前提に助成金が縮小されるのは、行政から地域が見放されていくように感じる。
まちづくり専門家派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数の上限を増やしてほしい。 ・専門家への謝金の単価を引き上げてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成が煩雑である。 ・広域での道路（私道）補修助成の申請が難しい。

⑬ 市に相談したいことや支援を希望すること（問 27）

市に相談したいことや支援を希望することは、「資金確保（寄附・助成金等）」が55.6%と最も多く、次いで「組織運営・人材育成」が25.0%、「イベントなどの企画・運営・集客」が22.2%などとなっている。

図表 31 市に相談したいことや支援を希望すること〔複数回答〕



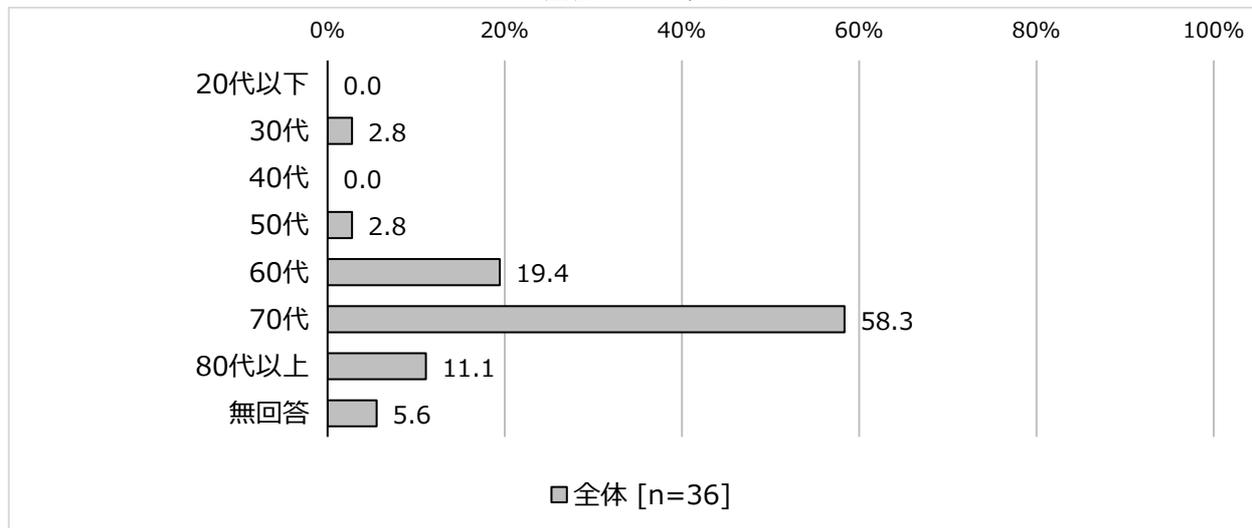
(8) 代表の活動状況

①代表（回答者）の状況（問 36）

(7) 年代

年代は、「70代」が58.3%と最も多く、次いで「60代」が19.4%、「80代以上」が11.1%などとなっている。

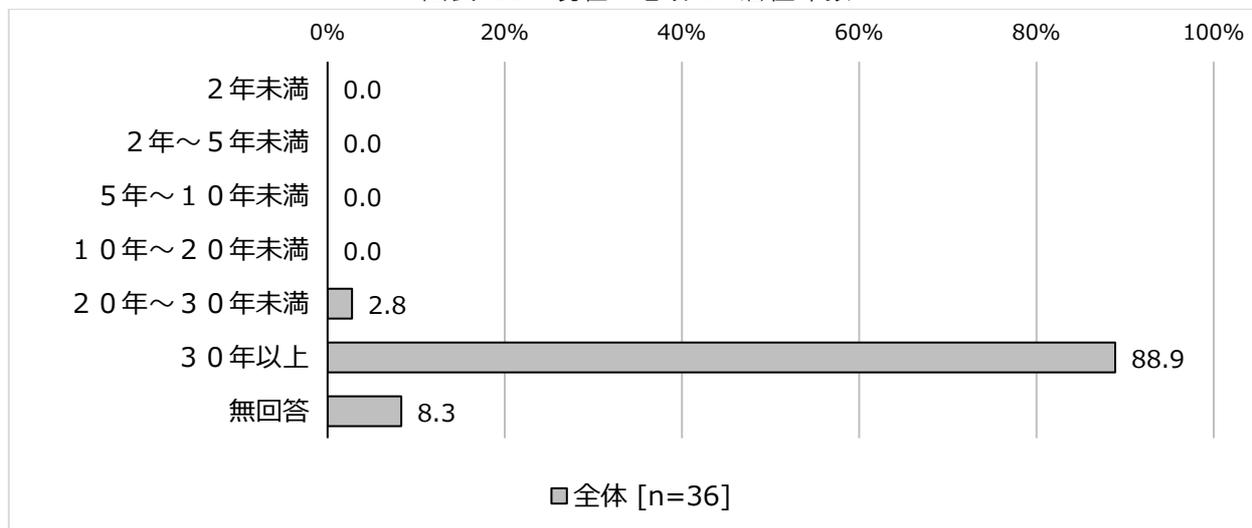
図表 32 年代



(4) 現在の地域での居住年数

現在の地域での居住年数は、「30年以上」が88.9%と最も多くなっている。

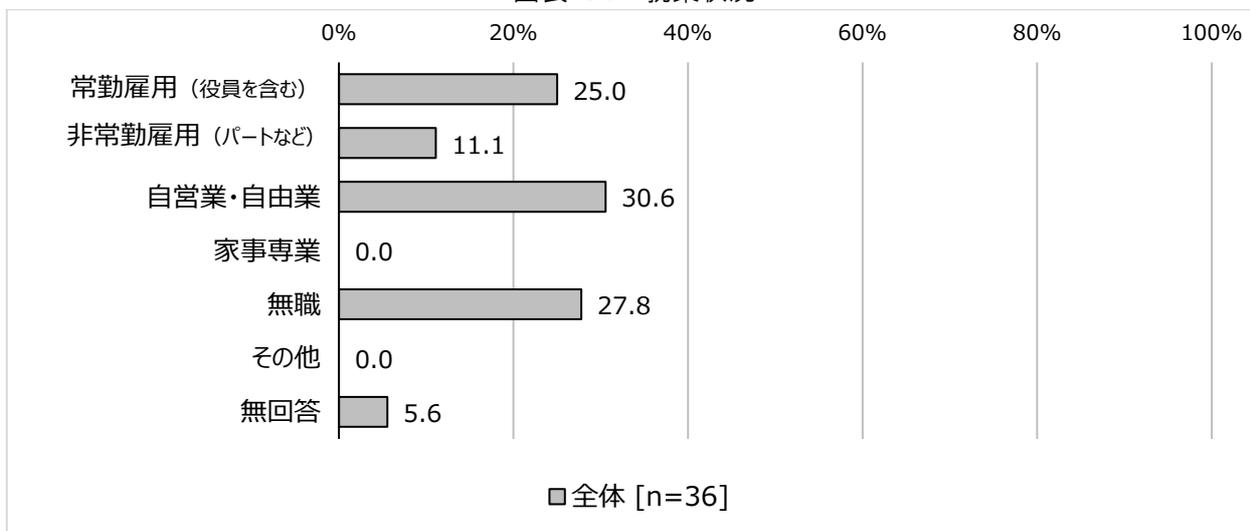
図表 33 現在の地域での居住年数



(ウ) 就業状況

就業状況は、「自営業・自由業」が30.6%と最も多く、次いで「無職」が27.8%、「常勤雇用（役員を含む）」が25.0%などとなっている。

図表 34 就業状況



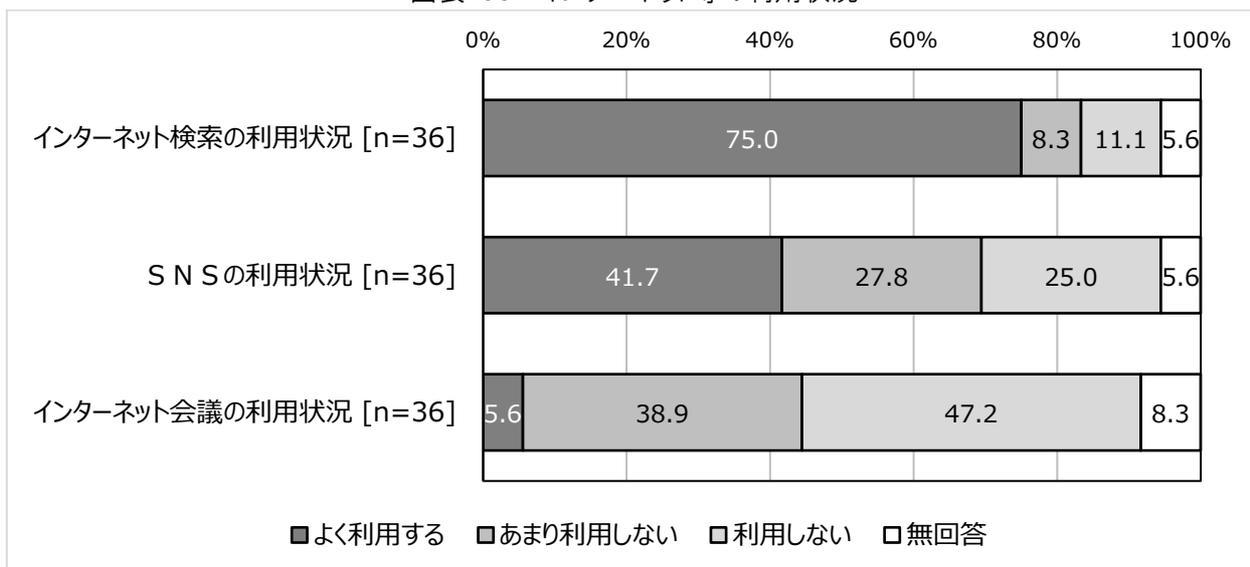
(エ) インターネット等の利用状況

インターネット検索の利用状況は、「よく利用する」が75.0%と最も多く、次いで「利用しない」が11.1%、「あまり利用しない」が8.3%となっている。

S N Sの利用状況は、「よく利用する」が41.7%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が27.8%、「利用しない」が25.0%となっている。

インターネット会議の利用状況は、「利用しない」が47.2%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が38.9%、「無回答」が8.3%となっている。

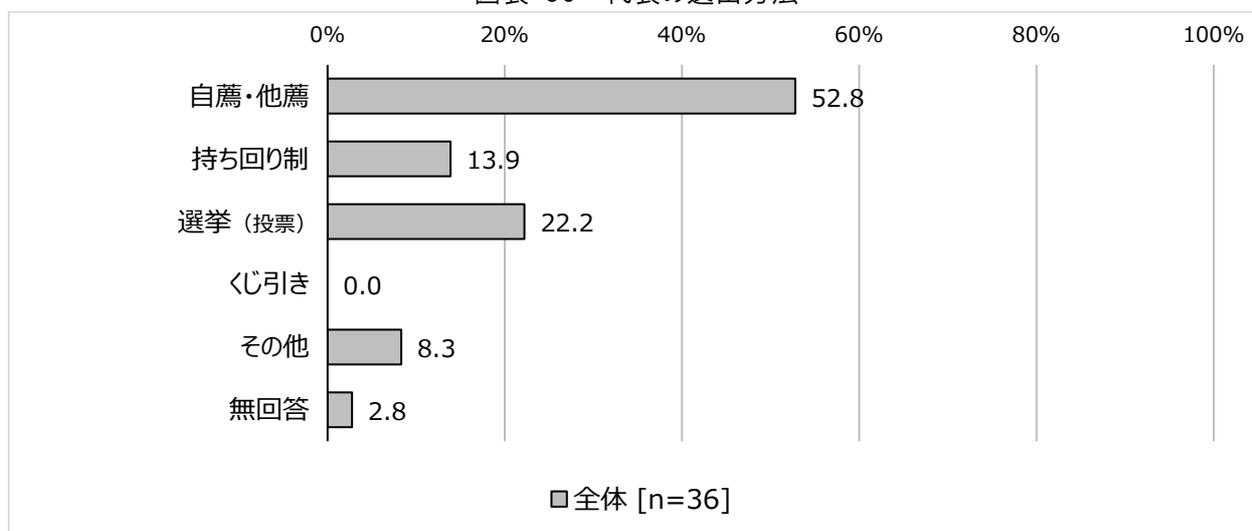
図表 35 インターネット等の利用状況



②代表の選出方法（問 28）

代表の選出方法は、「自薦・他薦」が52.8%と最も多く、次いで「選挙（投票）」が22.2%、「持ち回り制」が13.9%などとなっている。

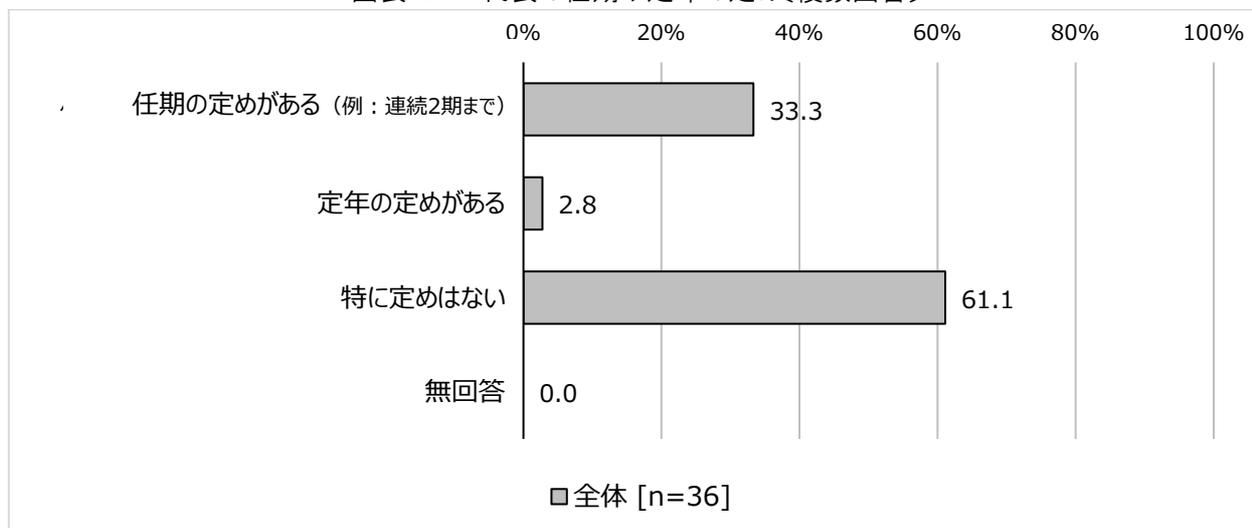
図表 36 代表の選出方法



③ 代表の任期や定年の定め（問 29）

代表の任期や定年の定めは、「特に定めはない」が61.1%と最も多く、次いで「任期の定めがある（例：連続2期まで）」が33.3%、「定年の定めがある」が2.8%となっている。

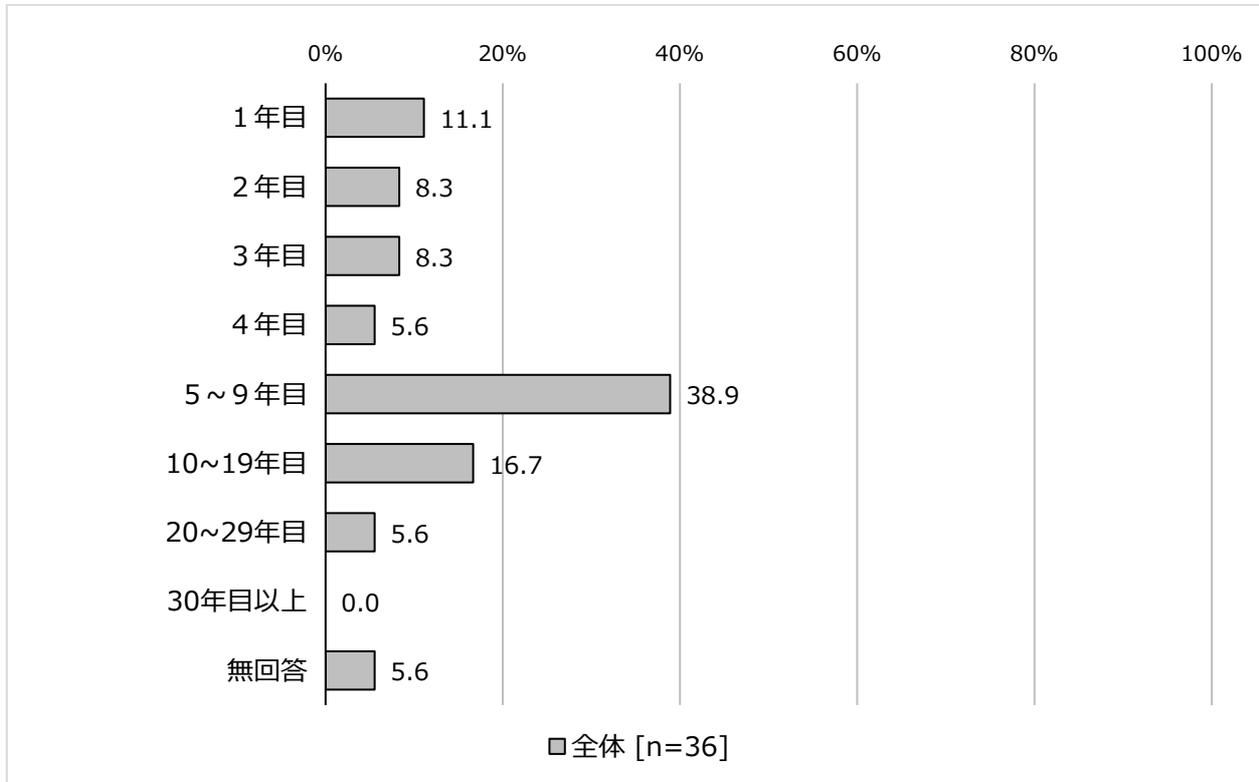
図表 37 代表の任期や定年の定め〔複数回答〕



④ 代表になってからの年数（問 30）

代表になってからの年数は、「5～9年目」が38.9%と最も多く、次いで「10～19年目」が16.7%、「1年目」が11.1%などとなっている。

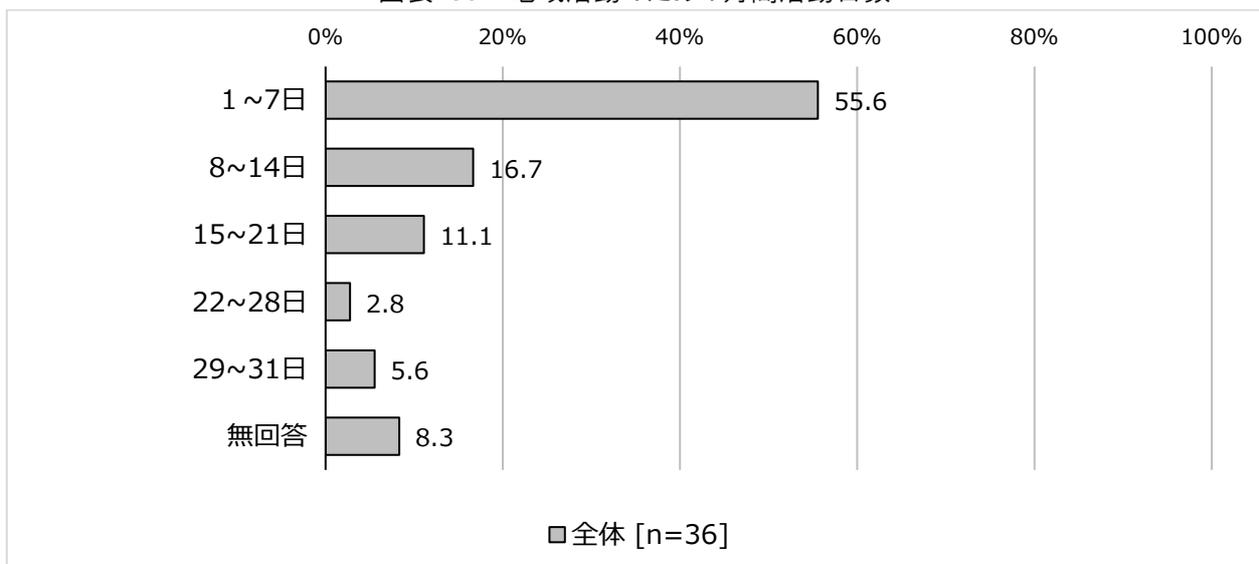
図表 38 代表になってからの年数



⑤ 地域活動のための月間活動日数（問 34）

地域活動のための月間活動日数は、「1～7日」が55.6%と最も多く、次いで「8～14日」が16.7%、「15～21日」が11.1%などとなっている。

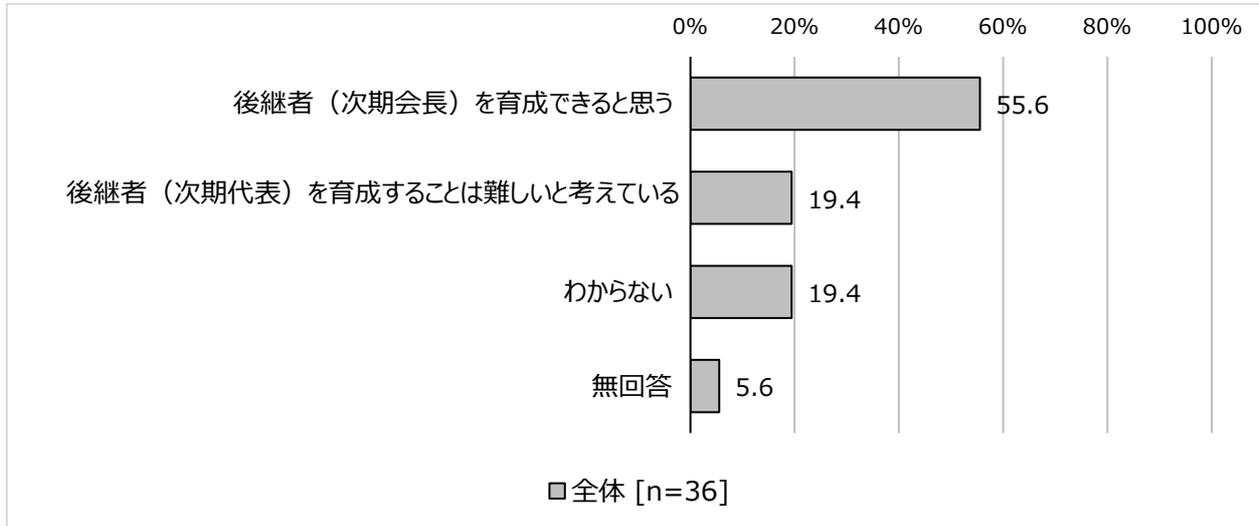
図表 39 地域活動のための月間活動日数



⑥ 次期代表の確保の見通し（問 31）

次期代表の確保の見通しは、「後継者（次期会長）を育成できると思う」が55.6%と最も多く、次いで「後継者（次期会長）を育成することは難しいと考えている」と「わからない」が19.4%となっている。

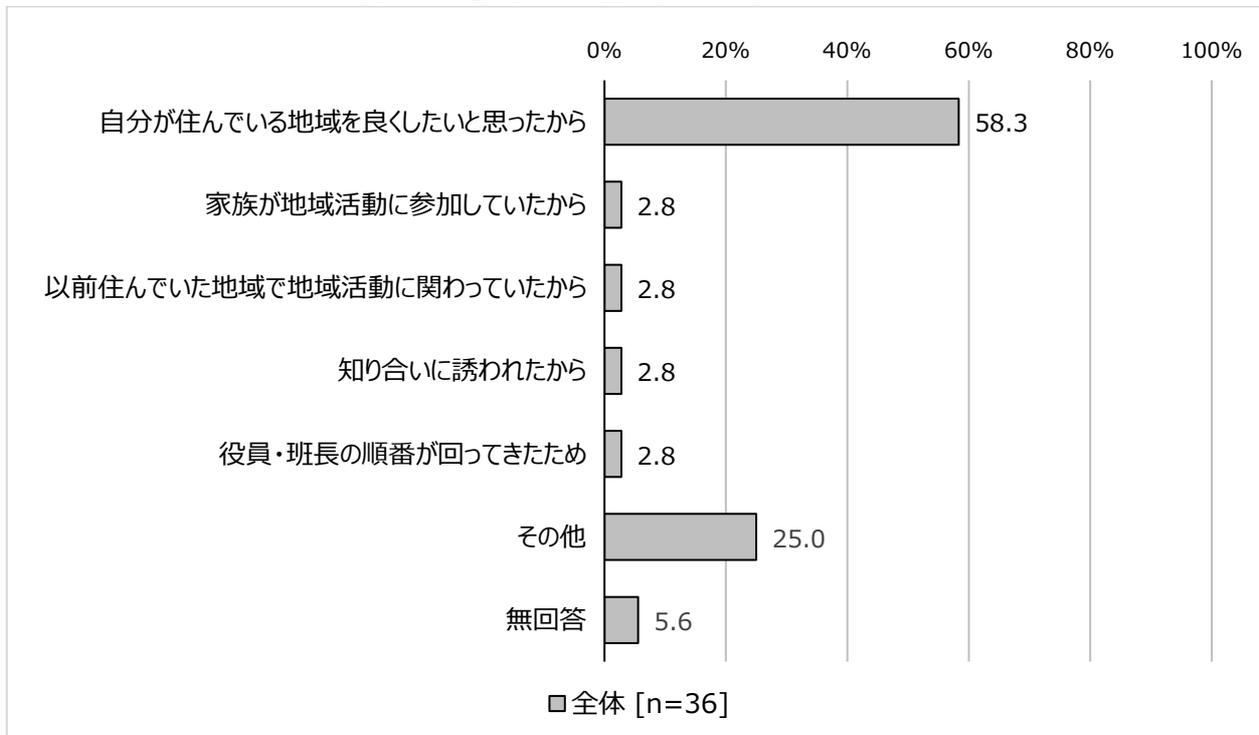
図表 40 次期代表の確保の見通し



⑦ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問 32）

地域活動の担い手として参加したきっかけは、「自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから」が58.3%と最も多くなっている。

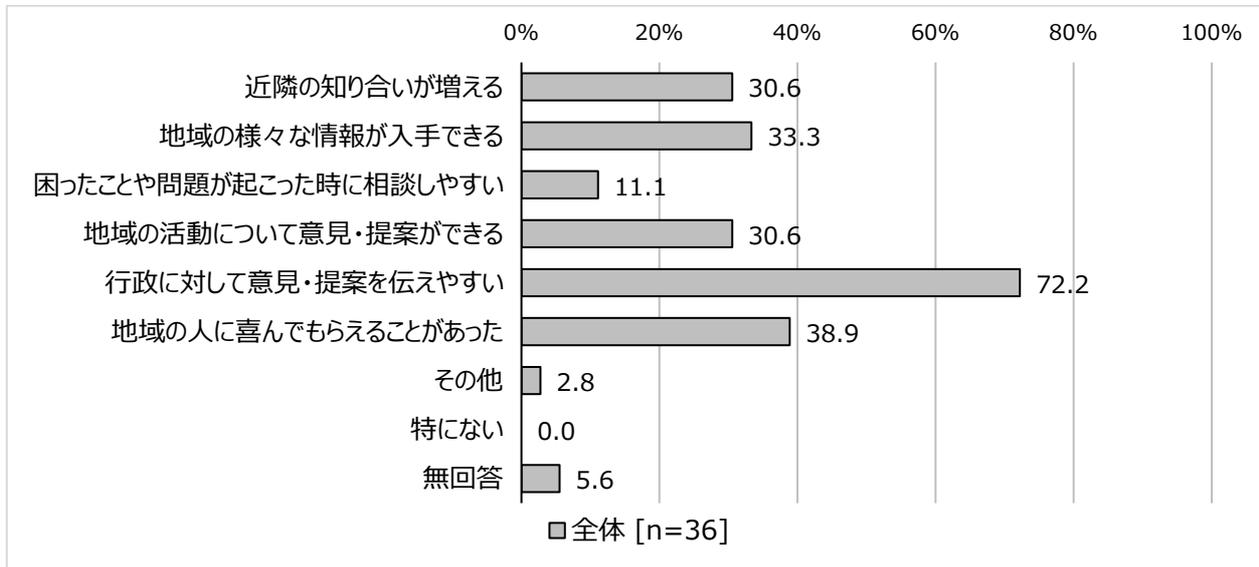
図表 41 地域活動の担い手として参加したきっかけ



⑧地域活動に参加してよかったこと（問 33）

地域活動に参加してよかったことは、「行政に対して意見・提案を伝えやすい」が72.2%と最も多く、次いで「地域の人に喜んでもらえることがあった」が38.9%、「地域の様々な情報が入手できる」が33.3%などとなっている。

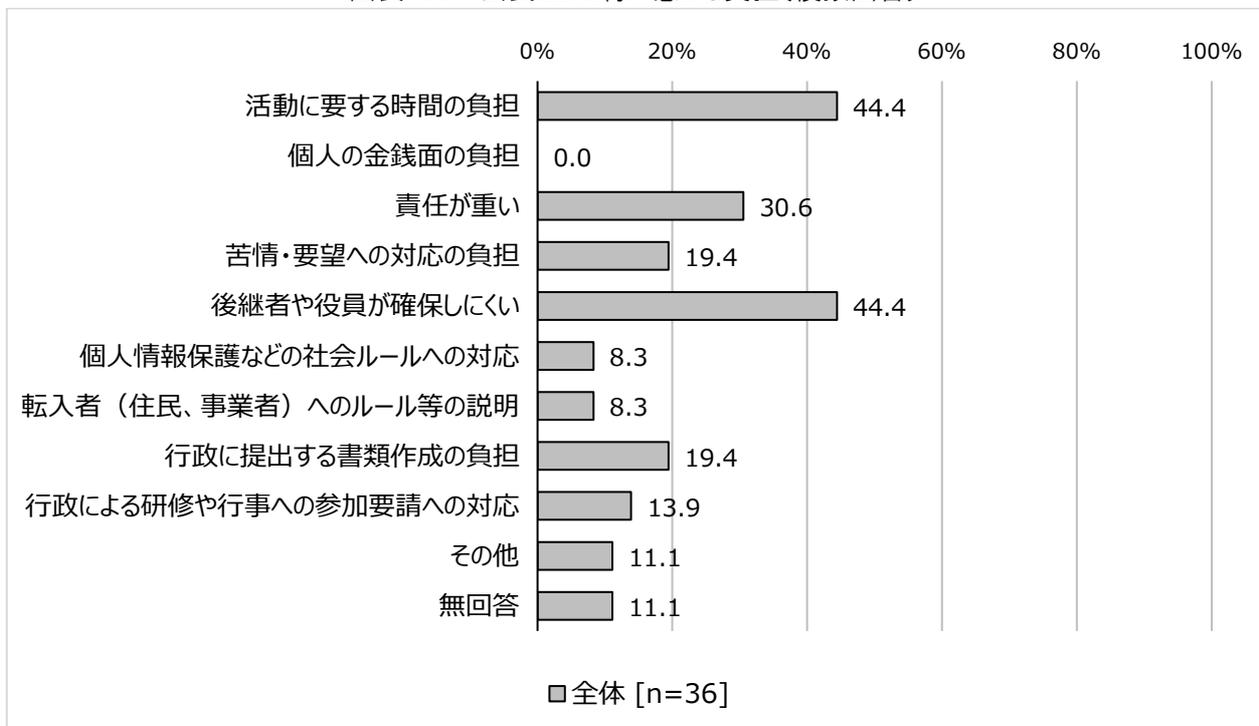
図表 42 地域活動に参加してよかったこと〔複数回答〕



⑨ 会長として特に感じる負担（問 35）

会長として特に感じる負担は、「活動に要する時間の負担」と「後継者や役員が確保しにくい」が44.4%と最も多く、次いで「責任が重い」が30.6%などとなっている。

図表 43 会長として特に感じる負担〔複数回答〕



(9) 自由意見

①運営での工夫（問 25）

区分	主なご意見
企画	・全住民アンケートに基づき作成した「まちづくり構想」をベースに活動している。
活動	・交流活動の活発化やリーダーの育成を図るため、オンラインを活用して地域活動を再開した。 ・道路問題（私道）や道路の老朽化について勉強会を開催した。
体制確保	・各団体にお手伝いの協力を依頼した。
組織運営	・情報共有のため、毎月、参加団体に資料を配布している。 ・コロナのためにイベントができないので、この3年間は勉強会に力を入れて取り組んできた。
連携	・他の組織とのコラボを積極的にした。
広報	・資料を地域の掲示板に掲載するようにしている。今後はSNSをもっと活用していきたい。

②コロナ禍において新たに取組んだこと（問 25）

区分	主なご意見
活動	・大人数が集まらないように、同じ行事を複数回にわけて開催した。
組織運営	・総会を書面決議で行った。 ・毎月開催していた定例会を隔月開催に変更した。 ・資料を事前にオンラインで配付し、定例会の所要時間を短くした。

③その他（問 25）

区分	主なご意見
その他	・震災後20年が経過し団体としての役割は終えているように感じている。活動を少しずつ縮小していきたい。

調査票

まちづくり協議会 調査票

1. 貴団体の活動について

問1 貴団体の名称をお聞かせください。

問2 貴団体はどのような活動を実施していますか。(○印はいくつでも)

1. よりよいまちづくりを進めていくための学習会やまちあるき等の開催
2. 協議会活動の広報
3. よりよいまちづくりを進めていくためのイベント等の開催
4. まちづくり構想や協定等の運用（新規住民や新規立地事業者に対する説明）
5. その他（)

問3 貴団体では活動の記録（議事録等）は誰が作成していますか（○印は1つ）

1. 団体の役員が作成している
2. まちづくり専門家が作成している
3. その他（)
4. 作成していない

問4 貴団体では策定された協定等の更新（内容変更を含む）は円滑に実施できましたか。（○印は1つ）

1. 円滑に実施できた
2. 協議・調整で苦労した
→苦労した理由・内容（)
3. 協定等はあるが、これまで更新をしたことはない
4. 更新が予定されている協定等はない

問5 貴団体の活動において、定期的に利用している市内の施設をお聞かせ下さい。（最大3施設まで）

（対象となる施設・活動や記入方法の補足）

- ・同じ施設で、2か月に1回以上の頻度で開催している活動について記載してください。
- ・屋外（公園など）での活動は対象外とします。
- ・総会や役員会、イベントの準備・打合せなど、組織運営や準備に関わる活動は対象外とします。
- ・同じ施設で行っている活動が3つ以上ある場合は、参加人数が多いものを優先して記載してください。
- ・施設の所在地（住所）は、番地・建物名まで記入してください。
- ・月当たりの開催日数は、次を参考として記載してください。

毎日 ⇒ 31日 毎週1回 ⇒ 4日 毎月1回 ⇒ 1日 2か月に1回 ⇒ 0.5日

（記入例）

利用施設の名称①	●●会館		
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です） 神戸市 ●● 区 ●●通●-●-● ●●ビル●F		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 ③ 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 () 10. その他 ()		
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①	子育てサロン	1. どなたでも 2. 子ども ③ 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
②	ふれあい喫茶	① どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
③	キッズ体操	1. どなたでも ② 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	1日/月

【回答欄（最大3施設まで）】

利用施設の名称①			
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です）		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 () 10. その他 ()		
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

問10 貴団体では、次に挙げるような講習会が開催された際に参加してみたいですか。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. パソコン、スマートフォン等の利用方法 | 6. 文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方 |
| 2. ホームページの作成方法 | 7. 画像・動画の編集ソフトの使い方 |
| 3. SNSの利用方法 | 8. 他の団体におけるICTの活用事例の紹介 |
| 4. インターネット会議の実施方法 | 9. その他 () |
| 5. セキュリティ対策 | 10. 参加したい講習会はない |

問11 貴団体の活動を進めるうえで課題として感じておられることをお聞かせください。

①人材面での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 役員のなり手がいない | 4. インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない |
| 2. 運営を手伝ってくれるスタッフが足りない | 5. その他 () |
| 3. 事務・会計処理を行える人が少ない | 6. 特に課題はない |

②運営面での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 活動の企画・アイデアを考えるのが難しい | 8. 適切な感染予防対策がわからない |
| 2. 会合や催しを行える場所が少ない | 9. 活動資金が不足している |
| 3. 活動の周知・PRが難しい | 10. 団体名で契約ができない(携帯電話等) |
| 4. 事務・会計処理の負担が重い | 11. 団体名で財産が保有できない(不動産、自動車等) |
| 5. 地域内の団体間の調整が難しい | 12. 加入人数が減っている |
| 6. 個人情報の取り扱いが難しい | 13. その他 () |
| 7. 感染予防対策の費用負担が重い | 14. 特に課題はない |

③活動への住民の参加状況での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 活動・催しへの参加者が少ない | 4. 特に参加してほしい年代層の参加が少ない |
| 2. 参加する人の顔ぶれがいつも同じである | 5. その他 () |
| 3. 共同住宅(マンション等)からの参加が少ない | 6. 特に課題はない |

次ページへお進みください

問12 貴団体は、他の団体と行事や情報交換などの連携をしていますか。既に連携している団体と、今後新たに連携したい団体を、それぞれお聞かせください。（○印はいくつでも）

連携先となる団体	既に連携している団体	新たに連携したい団体
(記入例) 自治会	1	①
①自治会	1	1
②婦人会	2	2
③ふれあいのまちづくり協議会（小学校単位のまちづくり組織）	3	3
④他のまちづくり協議会	4	4
⑤防災福祉コミュニティ	5	5
⑥青少年育成協議会	6	6
⑦老人クラブ	7	7
⑧子ども会	8	8
⑨ P T A	9	9
⑩民生委員・児童委員	10	10
⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所	11	11
⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校	12	12
⑬公民館、児童館等の公共施設	13	13
⑭ N P O、ボランティア団体	14	14
⑮地域の企業・事業者・商店など	15	15
⑯既存の団体に参加していない個人	16	16
⑰その他（ ）	17	17
⑱現在特に連携していない/今後新たに連携する予定はない	18	18

問13 貴団体が、これまで他の団体と連携して取り組んだことの概要をお聞かせください。

	連携先	連携内容、発揮された強み（貴団体、連携先団体）
事例 1		
事例 2		
事例 3		

問14 貴団体が、自治会や婦人会、ふれあいのまちづくり協議会、NPO 法人等、他の団体と今後連携して取り組みたいことがあれば、アイデアをお聞かせください。

	連携したい相手	連携して実現したいこと
連携 1		
連携 2		
連携 3		

問19 貴団体の活動している地域には、特にどのような課題があると思いますか。(○印は5つまで)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 住民のつながりの希薄化や孤立 | 10. 管理の行き届いていない空家・空地の増加 |
| 2. 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加 | 11. 生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど） |
| 3. 若者世代や子育て世代の減少・流出 | 12. 公共交通の利便性の低下 |
| 4. 子どもの遊び場の不足 | 13. 買い物利便性の低下 |
| 5. 子育て環境の充実 | 14. 地域の歴史や伝統、文化の継承 |
| 6. 交通事故の発生、自転車のマナーの改善 | 15. 地域産業の活性化
(農林漁業、ものづくり、観光など) |
| 7. 防災への備え（高齢者等の避難誘導など） | 16. 在住外国人との交流・共生 |
| 8. 防犯への備え（ひったくり、登下校の安全確保、夜道の明るさなど） | 17. 環境保全活動（里山保全など） |
| 9. 地域の美化（ペットのマナーの向上、ポイ捨て、落書きなど） | 18. その他
() |

問20 問19の課題を解決していくために、今後どのようなことに、今よりもっと力を入れて取り組むことが必要と思われますか。(○印は5つまで)

1. 住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）
2. 子どもたちが健やかに育つ地域にする活動（子どもの遊び場、子ども食堂、青少年育成など）
3. 妊婦、乳幼児とその保護者を支援する活動（子育てサロン、親子サークルなど）
4. 高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）
5. 助け合い活動（電球交換、買い物支援、移動支援等）
6. 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）
7. 気軽に文化に親しめる活動（音楽、芸術など）
8. 自然を大切にしたり、花や緑を増やす活動（季節感のある広葉樹を増やす、河川清掃など）
9. まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）
10. 歴史や伝統、文化を継承する活動
11. 地域の産業（農林漁業、ものづくり、商店街、観光など）を活性化する活動
12. 防犯活動（ひったくり、子どもの安全、防犯灯、詐欺被害防止など）
13. 災害に備えた自主防災活動（避難訓練、独居の方の緊急連絡先の把握など）
14. 交通安全活動（登下校の見守り、自転車のマナー向上、路上駐車対策など）
15. まちの基盤となる道路や公園などの整備に関する活動
16. 空き地・空き家対策に関する活動
17. 生活環境の改善・保全などを目的としたルールづくりに関する活動
18. その他 ()
19. 特にない
20. わからない

3. あなたご自身の活動状況について

問28 貴団体における会長の選出方法はどのような方法ですか。(○印は1つ)

1. 自薦・他薦 2. 持ち回り制 3. 選挙(投票) 4. くじ引き 5. その他()

問29 貴団体では、会長の任期や定年の定めがありますか。(○印はいくつでも)

1. 任期の定めがある(例:連続2期まで) 2. 定年の定めがある 3. 特に定めはない

問30 あなたが、会長になってからの年数をお聞かせください。(令和4年10月1日時点)

約()年()か月

問31 貴団体での次期会長の育成について、見通しをお聞かせください。(○印は1つ)

1. 後継者(次期会長)を育成できると思う
2. 後継者(次期会長)を育成することは難しいと考えている
3. わからない

問32 あなたが、地域活動の担い手として参加したきっかけをお聞かせください。(○印は1つ)

1. 自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから 4. 知り合いに誘われたから
2. 家族が地域活動に参加していたから 5. 役員・班長の順番が回ってきたため
3. 以前住んでいた地域で地域活動に関わっていたから 6. その他()

問33 あなたが、地域活動に参加してよかったと思うことをお聞かせください。(○印は3つまで)

1. 近隣の知り合いが増える 5. 行政に対して意見・提案を伝えやすい
2. 地域の様々な情報が入手できる 6. 地域の人に喜んでもらえることがあった
3. 困ったことや問題が起こった時に相談しやすい 7. その他()
4. 地域の活動について意見・提案できる 8. 特にない

問34 あなたは、貴団体をはじめ地域活動のために、月間何日ぐらい活動していますか。(数字を記入)

月間()日ぐらい ※最大値を31日としてください

(丸々1日ではなくても、会合への出席など1日の間に少しでも活動があれば1日として数えてください。)

問35 あなたは、会長として、特にどのようなことに負担を感じていますか。(○印は3つまで)

1. 活動に要する時間の負担 6. 個人情報保護などの社会ルールへの対応
2. 個人の金銭面の負担 7. 転入者(住民、事業者)へのルール等の説明
3. 責任が重い 8. 行政に提出する書類作成の負担
4. 苦情・要望への対応の負担 9. 行政による研修や行事への参加要請への対応
5. 後継者や役員が確保しにくい 10. その他()

4. あなたご自身のことについて

問36 あなたご自身のことについてお聞かせください。(それぞれ○印は1つ)

①年代	1. 20代以下 3. 40代 5. 60代 7. 80代以上 2. 30代 4. 50代 6. 70代
②現在の地域（小学校区）での居住年数	1. 2年未満 3. 5年～10年未満 5. 20年～30年未満 2. 2年～5年未満 4. 10年～20年未満 6. 30年以上
③就業状況	1. 常勤雇用（役員を含む） 4. 家事専業 2. 非常勤雇用（パートなど） 5. 無職 3. 自営業・自由業 6. その他（ ）
④インターネット検索	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない
⑤SNSの利用 ※1	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない
⑥インターネット会議 ※2	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない

※1 SNS

LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど

※2 インターネット会議

Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

ご協力ありがとうございました。

11月11日（金）までにお近くのポストに投函してください（切手不要）

■ **令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査**

まちづくり協議会 調査結果報告書

(連絡先)

神戸市地域協働局地域活性課 (地域コミュニティ担当) (令和5年4月から)

電話 : 078-322-5170 (内線 2262) FAX : 078-322-6133

電子メール community@office.city.kobe.lg.jp

(調査委託先) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社